

問題 0001

[3-1 システム企画] > [システム化計画] | 難易度：基礎

システム化計画の主な目的として最も適切なものはどれか。

- ア. 対象業務を分析し、情報システム戦略に基づいて開発順序、概算コスト、効果などシステム化の全体像を明らかにする。
- イ. 個々のプログラムのソースコードを詳細に記述する。
- ウ. 本番障害の原因を調査して恒久対策だけを決める。
- エ. 稼働済みシステムのバックアップ媒体だけを管理する。

解答・解説

正答：ア

ア：システム化計画は対象業務を分析し、システム化構想や基本方針、開発順序、概算コスト、効果など全体像を明らかにします。

イ：ソースコードの詳細記述はプログラミング工程の内容です。

ウ：本番障害の原因分析は運用・保守やインシデント対応の内容です。

エ：バックアップ媒体の管理は運用管理の内容で、システム化計画の主目的ではありません。

総合解説：システム化計画では、対象業務、適用範囲、スケジュール、体制、リスク、費用対効果などを整理し、システム化の全体像を示します。

問題 0002

[3-1 システム企画] > [システム化計画] | 難易度：基礎

システム化計画で最初に重視すべき考え方として最も適切なものはどれか。

- ア. 利用可能な技術を先に決め、その技術に合わせて業務を変える。
- イ. 経営戦略・情報システム戦略や対象業務の課題を踏まえてシステム化の方針を検討する。
- ウ. 見積金額だけで導入の可否を決める。
- エ. システム化の対象範囲を決めずに開発を開始する。

解答・解説

正答：イ

ア：技術ありきで決めるのではなく、経営や業務上の目的から検討することが重要です。

イ：システム化計画は経営戦略や情報システム戦略、現行業務の分析を踏まえて立案します。

ウ：費用は重要ですが、効果、適用範囲、リスクなども合わせて評価します。

エ：対象範囲が不明確なまま開発を始めると、手戻りや費用増加の原因になります。

総合解説：システム化は目的ではなく経営・業務課題を解決する手段です。上位戦略との整合を確認して計画します。

問題 0003

[3-1 システム企画] > [システム化計画] | 難易度：標準

システム化計画で費用対効果を検討する理由として最も適切なものはどれか。

- ア. 開発者の人数だけを定めるため。
- イ. プログラム言語を必ず一つに固定するため。
- ウ. 必要な投資に対して期待される効果が妥当かを判断するため。
- エ. 障害発生時のログを削除するため。

解答・解説

正答：ウ

ア：人数だけを定めるための指標ではありません。

イ：費用対効果は言語選定を固定するためのものではありません。

ウ：投資額と期待効果を比較し、投資判断の妥当性を確認するために用います。

エ：ログ削除とは無関係です。

総合解説：システム化計画では、導入コストだけでなく、業務時間削減、売上向上、リスク低減などの効果も含めて評価します。

問題 0004

[3-1 システム企画] > [システム化計画] | 難易度：標準

システム化計画におけるリスク分析の例として最も適切なものはどれか。

- ア. 全てのリスクは無視し、予定どおり進むと仮定する。
- イ. リスクは本番稼働後に初めて考える。
- ウ. 影響度に関係なく全て同じ優先度で扱う。
- エ. 要員不足や技術上の不確実性などを洗い出し、発生可能性や影響を踏まえて対応を検討する。

解答・解説

正答：エ

ア：リスクを無視すると計画の実現可能性を適切に評価できません。

イ：計画段階からリスクを検討する必要があります。

ウ：リスクは重要度が異なるため、優先順位付けが必要です。

エ：発生可能性と影響度などを考慮して、対応策や予備策を準備するのが適切です。

総合解説：システム化計画では、スケジュール、費用、体制、技術、業務移行などのリスクを早期に把握します。

問題 0005

[3-1 システム企画] > [システム化計画] | 難易度：応用

複数のシステム化案件がある場合、開発順序を決める際の観点として最も適切なものはどれか。

ア. 経営上の重要度、依存関係、費用対効果、リスクなどを総合的に考える。

イ. 案件名を五十音順に並べる。

ウ. 最も新しい技術を使う案件を常に最優先にする。

エ. 担当者の好みだけで決める。

解答・解説

正答：ア

ア：システム化の優先順位は経営効果、前後関係、リスク、資源制約などを踏まえて判断します。

イ：五十音順は経営判断の基準になりません。

ウ：新技術であることだけで優先度は決まりません。

エ：個人の好みではなく、客観的な観点で決める必要があります。

総合解説：複数案件の優先順位は、経営戦略への貢献、相互依存、投資効果、リスクなどから総合判断します。

問題 0006

[3-1 システム企画] > [要件定義] | 難易度：基礎

要件定義の目的として最も適切なものはどれか。

ア. 完成したプログラムのバグだけを修正する。

イ. 利用者や業務のニーズを踏まえ、システムに求める機能や条件を明確にして合意する。

ウ. 本番環境の監視ログだけを保存する。

エ. 契約終了後にだけシステムの目的を決める。

解答・解説

正答：イ

ア：バグ修正は実装・保守の活動です。

イ：要件定義では利用者要求や現行業務を分析し、必要な機能・非機能要件を明確化して関係者で合意します。

ウ：ログ保存は運用管理の活動で、要件定義の目的そのものではありません。

エ：目的や要件は開発の早い段階で明確にする必要があります。

総合解説：要件定義は後工程の設計・開発・テストの基準になります。曖昧な要件は手戻りの原因です。

問題 0007

[3-1 システム企画] > [要件定義] | 難易度：基礎

販売管理システムの要求として「利用者が顧客名から顧客情報を検索できる」が挙げられた。この要求の分類として最も適切なものはどれか。

- ア. システムの稼働率を99.9%以上とする。
- イ. 障害から30分以内に復旧する。
- ウ. 利用者が商品を検索して注文できる。
- エ. 画面応答を2秒以内とする。

解答・解説

正答：ウ

ア：稼働率は可用性に関する非機能要件です。

イ：復旧時間は可用性・運用に関する非機能要件です。

ウ：検索・注文という利用者が行える機能は機能要件です。

エ：応答時間は性能に関する非機能要件です。

総合解説：機能要件は『何ができるか』、非機能要件は性能・信頼性・使用性など『どのような品質や条件で動くか』を示します。

問題 0008

[3-1 システム企画] > [要件定義] | 難易度：標準

販売管理システムで、処理速度や可用性など『機能そのものではない品質条件』に当たる要求はどれか。

- ア. 顧客情報を登録できる。
- イ. 商品を検索できる。
- ウ. 注文内容を変更できる。
- エ. ピーク時でも画面応答時間を3秒以内とする。

解答・解説

正答：エ

ア：登録機能は機能要件です。

イ：検索機能は機能要件です。

ウ：変更機能は機能要件です。

エ：応答時間という性能条件は非機能要件です。

総合解説：性能、信頼性、可用性、使用性、セキュリティなどは代表的な非機能要件です。

問題 0009

[3-1 システム企画] > [要件定義] | 難易度：標準

要件定義で『要件の合意』が重要な理由として最も適切なものはどれか。

- ア. 利用者・業務部門・開発側などで認識差を減らし、後工程の基準を共有するため。
- イ. 合意するとテストが不要になるから。
- ウ. 合意すると費用見積りが不要になるから。
- エ. 合意すると仕様変更が一切禁止されるから。

解答・解説

正答：ア

ア：関係者間で共通理解を形成し、設計・テストの基準とするために合意が重要です。

イ：要件に合意してもテストは必要です。

ウ：要件は見積りの前提にもなり、見積りが不要になるわけではありません。

エ：変更手順を経て要件が変更される場合があります。

総合解説：要件合意は、後工程の手戻り防止や受入れ判断の基準づくりにつながります。

問題 0010

[3-1 システム企画] > [要件定義] | 難易度：応用

現行業務の分析で利用者へのインタビューを行う主な目的として最も適切なものはどれか。

- ア. 利用者にプログラムコードを書いてもらうため。
- イ. 業務上の課題や要求を把握し、要件定義に反映するため。
- ウ. テストを全て利用者に委任するため。
- エ. RFPの代わりに契約書を作ってもらうため。

解答・解説

正答：イ

ア：利用者がコードを書くことが目的ではありません。

イ：利用者の実務や課題、ニーズを把握することは要件定義の重要な情報収集です。

ウ：テストには開発側・取得側それぞれの役割があります。

エ：インタビューは契約書作成の代替ではありません。

総合解説：要件定義では、インタビュー、現行業務分析、データの洗出しなどを通じて要求を具体化します。

問題 0011

[3-1 システム企画] > [調達計画・RFP・調達実施] | 難易度：基礎

システム調達の初期段階で、技術動向や実現手段などの情報をベンダーから広く収集するために用いる文書はどれか。

- ア. RFP
- イ. 提案書
- ウ. RFI
- エ. 見積書

解答・解説

正答：ウ

ア：RFPは具体的な提案を求める文書です。

イ：提案書はベンダー側がRFPなどを基に作成します。

ウ：RFIはRequest For Informationで、RFP作成前などに情報提供を依頼する文書です。

エ：見積書は費用を示す文書です。

総合解説：RFIは情報収集、RFPは提案依頼という役割の違いを押さえます。

問題 0012

[3-1 システム企画] > [調達計画・RFP・調達実施] | 難易度：基礎

RFPの説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 受注側が開発費だけを記載する文書。
- イ. 稼働後の障害履歴だけを記録する文書。
- ウ. 利用者が操作手順だけを記載する文書。
- エ. 発注側が導入システムの概要、提案依頼事項、調達条件などを示し、提案を求める文書。

解答・解説

正答：エ

ア：費用だけを示すのは見積書に近く、RFPではありません。

イ：障害履歴は運用記録です。

ウ：操作手順は利用者マニュアルなどの内容です。

エ：RFPIは発注側が要望・条件を示してベンダーに提案書の提出を求める文書です。

総合解説：RFPIは提案比較の基準となるため、目的、要件、条件、評価方法などを明確にします。

問題 0013

[3-1 システム企画] > [調達計画・RFP・調達実施] | 難易度：標準

ベンダーがRFPを基に、システム構成や開発方法などを発注者へ提示する文書はどれか。

- ア. 提案書
- イ. RFI
- ウ. 契約書
- エ. 受入れテスト仕様書

解答・解説

正答：ア

ア：提案書はベンダーがRFPを基に提案内容をまとめる文書です。

イ：RFIは発注側が情報提供を依頼する文書です。

ウ：契約書は双方の契約条件を定める文書です。

エ：受入れテスト仕様書は受入れ確認のための文書です。

総合解説：調達では、RFI→RFP→提案書・見積書→比較評価→選定→契約→受入れ・検収という流れを理解します。

問題 0014

[3-1 システム企画] > [調達計画・RFP・調達実施] | 難易度：標準

複数ベンダーの提案を比較評価する際の進め方として最も適切なものはどれか。

- ア. 最安価格だけで必ず決める。
- イ. 事前に定めた評価基準に基づき、要件適合性、費用、体制、実績などを比較する。
- ウ. 担当者の知名度だけで決める。
- エ. 提案書を読まず既存取引先を自動選定する。

解答・解説

正答：イ

ア：価格は重要ですが、要件適合性や品質・体制なども評価します。

イ：事前に評価基準を設け、複数観点から比較するのが適切です。

ウ：担当者の知名度だけでは客観的な調達判断になりません。

エ：公平・合理的な比較評価が必要です。

総合解説：調達先選定では、提案内容を同じ基準で比較し、意思決定の透明性を確保することが重要です。

問題 0015

[3-1 システム企画] > [調達計画・RFP・調達実施] | 難易度：応用

見積書の主な役割として最も適切なものはどれか。

- ア. 全ての機能要件を最終決定する。
- イ. プログラムのテスト結果だけを記録する。
- ウ. 開発・運用・保守などにかかる費用を示し、取引先選定や発注内容確認の材料とする。
- エ. 従業員の人事評価を行う。

解答・解説

正答：ウ

ア：要件定義の全てを見積書だけで決めるものではありません。

イ：テスト結果の記録とは異なります。

ウ：見積書は費用の内訳や総額などを示し、調達判断に利用します。

エ：人事評価とは関係ありません。

総合解説：見積書は費用の根拠確認や提案比較に重要です。RFPや提案書と役割を区別します。

問題 0016

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：基礎

システム要件定義で明確にする対象として最も適切なものはどれか。

- ア. 完成後の障害履歴だけ
- イ. ソースコードの行数だけ
- ウ. 運用担当者の休暇予定だけ
- エ. システムに求める機能や性能などの要求

解答・解説

正答：エ

ア：運用後の記録であり、要件定義の中心ではありません。

イ：実装規模の一側面で、要件そのものではありません。

ウ：要員計画の一部になり得てもシステム要件そのものではありません。

エ：システム要件定義で扱う中心内容です。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0017

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：基礎

非機能要件に当たるものはどれか。

- ア. 1時間当たり1万件の取引を処理できること
- イ. 顧客を検索できること
- ウ. 注文内容を変更できること
- エ. 商品を登録できること

解答・解説

正答：ア

ア：性能に関する非機能要件です。

イ：機能要件です。

ウ：機能要件です。

エ：機能要件です。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0018

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：基礎

設計工程の役割として最も適切なものはどれか。

- ア. 要件を無視して自由に実装すること
- イ. 要件を満たすためのシステムやソフトウェアの構造・機能の実現方法を具体化すること
- ウ. 利用者の要求を収集することだけ
- エ. 本番障害だけを記録すること

解答・解説

正答：イ

ア：設計は合意済み要件を実現するために行います。

イ：設計工程の役割を正しく表しています。

ウ：要求収集は主に要件定義で行います。

エ：運用・保守の活動です。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0019

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：基礎

詳細設計の説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 経営戦略を策定すること
- イ. RFIを発行すること
- ウ. プログラムを実装できる程度まで処理やデータ構造などを具体化すること
- エ. 調達先を選定すること

解答・解説

正答：ウ

ア：経営戦略の活動で、詳細設計ではありません。

イ：調達計画の活動です。

ウ：詳細設計の役割を表しています。

エ：調達実施の活動です。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0020

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：標準

設計書を業務担当者と開発担当者が一緒に確認する共同レビューを行う狙いとして、最も適切なものはどれか。

- ア. レビュー担当者一人だけで判断し記録を残さないこと
- イ. テストを不要にすること
- ウ. 要件を後から自由に変更すること
- エ. 関係者で要件や設計内容を確認し、認識違いや問題を早期に見つけること

解答・解説

正答：エ

ア：共同レビューの考え方に反します。

イ：レビューを行ってもテストは必要です。

ウ：変更は影響確認と合意・管理が必要です。

エ：レビューの目的を正しく表しています。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0021

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：標準

品質特性のうち、必要な機能を正しく提供できる性質に最も関係するものはどれか。

- ア. 機能性
- イ. 使用性
- ウ. 信頼性
- エ. 効率性

解答・解説

正答：ア

ア：必要な機能を提供する性質に関係します。

イ：利用者が理解・操作しやすい性質です。

ウ：故障しにくさや安定動作などに関係します。

エ：時間や資源の効率に関係します。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0022

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：標準

品質特性のうち、利用者が理解・操作しやすいことに最も関係するものはどれか。

- ア. 性能効率性
- イ. 使用性
- ウ. 保守性
- エ. 信頼性

解答・解説

正答：イ

ア：処理時間や資源利用など性能面の効率に関係する品質特性です。

イ：利用者が理解・操作しやすい性質で、設問の内容に該当します。

ウ：修正や変更のしやすさに関係する品質特性です。

エ：故障しにくさや安定動作などに関係する品質特性です。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0023

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：標準

システム設計とソフトウェア設計の関係として最も適切なものはどれか。

- ア. どちらも必ず同じ内容で区別はない。
- イ. システム設計はプログラムの文法だけを決める。
- ウ. システム全体の方式を定め、その中でソフトウェアの構造や機能を具体化する。
- エ. ソフトウェア設計は業務要件の調達だけを行う。

解答・解説

正答：ウ

ア：システム設計とソフトウェア設計は対象範囲が異なります。

イ：システム設計はシステム全体の方式を扱います。

ウ：両者の関係を適切に表しています。

エ：ソフトウェア設計はソフトウェアの構造・機能を具体化します。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0024

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：標準

要件定義後に設計を行う主な理由として最も適切なものはどれか。

- ア. 要件を無効にするため
- イ. テストを省略するため
- ウ. 見積りを禁止するため
- エ. 合意された要求を実現する具体的な仕組みに落とし込むため

解答・解説

正答：エ

ア：設計は要件を実現するために行います。

イ：設計してもテストは必要です。

ウ：設計と見積り禁止は無関係です。

エ：要件を設計へ具体化する目的を正しく表しています。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0025

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：標準

要件の変更が発生した場合の対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 影響範囲を確認し、関係者で合意して変更内容を管理する。
- イ. 担当者が記録せず変更する。
- ウ. 必ず全システムを廃止する。
- エ. 変更による費用や日程への影響は確認しない。

解答・解説

正答：ア

ア：変更管理の基本です。

イ：変更管理を行わないと認識差や品質問題につながります。

ウ：変更のたびに全廃する必要はありません。

エ：影響分析が必要です。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0026

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：応用

設計レビューで、要件との対応関係を確認する主な目的はどれか。

- ア. コード量を増やすため
- イ. 必要な要件が設計に漏れなく反映されているか確認するため
- ウ. 画面色だけを決めるため
- エ. 契約金額だけを決めるため

解答・解説

正答：イ

ア：要件対応確認の目的ではありません。

イ：要件と設計の対応確認の目的です。

ウ：要件トレーサビリティの目的ではありません。

エ：設計レビューの主目的ではありません。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0027

[3-2 システム開発技術] > [システム・ソフトウェア要件と設計] | 難易度：応用

機能要件と非機能要件の説明として最も適切なものはどれか。

ア. 機能要件は性能条件だけ、非機能要件は業務機能だけを示す。

イ. 両者は全く同じ意味である。

ウ. 機能要件は『何ができるか』、非機能要件は性能・信頼性・使用性などの条件を表す。

エ. 非機能要件はシステム開発では考慮しない。

解答・解説

正答：ウ

ア：機能要件と非機能要件の対応が逆です。

イ：機能と品質・制約の観点で区別されます。

ウ：両者の違いを正しく表しています。

エ：性能や信頼性などは重要な要件です。

総合解説：要件定義と設計は、要求を明確にし、その要求を実現する具体的な構造や方式へ落とし込む連続した工程です。

問題 0028

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：基礎

プログラミング工程の説明として最も適切なものはどれか。

ア. 利用者との契約だけを締結する。

イ. 市場調査だけを実施する。

ウ. 本番稼働後のSLAだけを定める。

エ. 設計に従ってプログラムを作成する。

解答・解説

正答：エ

ア：利用者との契約だけを締結する。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

イ：市場調査だけを実施する。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：本番稼働後のSLAだけを定める。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：設計に従ってプログラムを作成する。という説明が設問の目的・工程に一致します。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0029

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：基礎

単体テストの主な目的はどれか。

- ア. 個々のプログラムやモジュールが設計どおり動くか確認する。
- イ. 複数企業の提案書を比較する。
- ウ. 利用者がシステム全体を受け入れるかだけ確認する。
- エ. 事業戦略を策定する。

解答・解説

正答：ア

ア：個々のプログラムやモジュールが設計どおり動くか確認する。という説明が設問の目的・工程に一致します。

イ：複数企業の提案書を比較する。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：利用者がシステム全体を受け入れるかだけ確認する。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：事業戦略を策定する。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0030

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：基礎

デバッグの説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 要件を全て削除すること。
- イ. プログラム中の不具合の原因を調べ、修正すること。
- ウ. テストを実施しないこと。
- エ. 調達価格を交渉すること。

解答・解説

正答：イ

ア：要件を全て削除すること。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

イ：プログラム中の不具合の原因を調べ、修正すること。という説明が設問の目的・工程に一致します。

ウ：テストを実施しないこと。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：調達価格を交渉すること。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0031

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：基礎

作成したソースコードを別の開発者にも確認してもらうコードレビューを行う主な狙いはどれか。

- ア. ソースコードを誰にも見せないこと。
- イ. コードの行数だけを増やすこと。
- ウ. 他者などがコードを確認し、不具合や改善点を早期に見つけること。
- エ. 受入れテストを不要にすること。

解答・解説

正答：ウ

ア：ソースコードを誰にも見せないこと。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

イ：コードの行数だけを増やすこと。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：他者などがコードを確認し、不具合や改善点を早期に見つけること。という説明が設問の目的・工程に一致します。

エ：受入れテストを不要にすること。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0032

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：標準

ホワイトボックステストの特徴として最も適切なものはどれか。

- ア. 内部構造を一切見ず外部仕様だけでテストする。
- イ. 完成後の契約条件だけを確認する。
- ウ. 利用者教育だけを行う。
- エ. プログラム内部の処理構造を考慮してテストする。

解答・解説

正答：エ

ア：内部構造を一切見ず外部仕様だけでテストする。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

イ：完成後の契約条件だけを確認する。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：利用者教育だけを行う。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：プログラム内部の処理構造を考慮してテストする。という説明が設問の目的・工程に一致します。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0033

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：標準

テストデータを境界値付近で用意する目的として最も適切なものはどれか。

- ア. 条件の切替点付近で起きやすい誤りを発見するため。
- イ. 見積り金額を増やすため。
- ウ. コードレビューを禁止するため。
- エ. 要件定義を省略するため。

解答・解説

正答：ア

ア：条件の切替点付近で起きやすい誤りを発見するため。 という説明が設問の目的・工程に一致します。

イ：見積り金額を増やすため。 これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：コードレビューを禁止するため。 これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：要件定義を省略するため。 これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0034

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：標準

プログラムが正常に動かないとき、まず原因箇所を特定して修正する活動はどれか。

- ア. RFP作成
- イ. デバッグ
- ウ. 調達評価
- エ. 受入れ

解答・解説

正答：イ

ア：RFP作成 これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

イ：デバッグ という説明が設問の目的・工程に一致します。

ウ：調達評価 これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：受入れ これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0035

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：標準

単体テストを行うタイミングとして最も適切なものはどれか。

ア. システム化計画より前だけ。

イ. 契約締結後は一切行わない。

ウ. 個々のプログラムを作成した後、統合する前に行う。

エ. 全ての運用が終了した後だけ。

解答・解説

正答：ウ

ア：システム化計画より前だけ。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

イ：契約締結後は一切行わない。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：個々のプログラムを作成した後、統合する前に行う。という説明が設問の目的・工程に一致します。

エ：全ての運用が終了した後だけ。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0036

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：標準

単体テストで異常系のテストデータも用いる理由として最も適切なものはどれか。

ア. 正常データのテストを禁止するため。

イ. 設計を不要にするため。

ウ. 利用者の人数だけを決めるため。

エ. 入力誤りや例外条件でも想定どおり処理されるか確認するため。

解答・解説

正答：エ

ア：正常データのテストを禁止するため。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

イ：設計を不要にするため。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：利用者の人数だけを決めるため。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：入力誤りや例外条件でも想定どおり処理されるか確認するため。という説明が設問の目的・工程に一致します。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0037

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：標準

コードレビューで可読性を確認する利点として最も適切なものはどれか。

- ア. 将来の保守や修正を行いやすくなる。
- イ. 必ず処理速度が100倍になる。
- ウ. 要件定義が不要になる。
- エ. テストが不要になる。

解答・解説

正答：ア

ア：将来の保守や修正を行いやすくなる。という説明が設問の目的・工程に一致します。

イ：必ず処理速度が100倍になる。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：要件定義が不要になる。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：テストが不要になる。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0038

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：標準

プログラムの一部を修正した後、その修正によって既存機能が壊れていないか確認するテストはどれか。

- ア. 受入れテストだけ
- イ. 回帰テスト（リグレッションテスト）
- ウ. 負荷テストだけ
- エ. 市場テスト

解答・解説

正答：イ

ア：受入れテストだけ これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

イ：回帰テスト（リグレッションテスト）という説明が設問の目的・工程に一致します。

ウ：負荷テストだけ これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：市場テスト これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0039

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：応用

テスト結果を記録・分析する理由として最も適切なものはどれか。

ア. 障害を隠すため。

イ. 同じバグを意図的に増やすため。

ウ. 不具合傾向や品質状況を把握し、修正・再テストの判断に使うため。

エ. 要件との対応を消すため。

解答・解説

正答：ウ

ア：障害を隠すため。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

イ：同じバグを意図的に増やすため。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：不具合傾向や品質状況を把握し、修正・再テストの判断に使うため。という説明が設問の目的・工程に一致します。

エ：要件との対応を消すため。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0040

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：応用

単体テストと統合テストの違いとして最も適切なものはどれか。

ア. どちらも契約書だけを確認する。

イ. 統合テストはプログラム作成前だけに行う。

ウ. 単体テストは利用者の受入れだけを確認する。

エ. 単体テストは個々のプログラム、統合テストは結合後の連携を主に確認する。

解答・解説

正答：エ

ア：どちらも契約書だけを確認する。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

イ：統合テストはプログラム作成前だけに行う。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：単体テストは利用者の受入れだけを確認する。これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：単体テストは個々のプログラム、統合テストは結合後の連携を主に確認する。という説明が設問の目的・工程に一致します。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0041

[3-2 システム開発技術] > [プログラミング・単体テスト] | 難易度：応用

プログラム開発でレビューとテストを組み合わせる考え方として最も適切なものはどれか。

- ア. レビューとテストは異なる観点で問題を見つけるため、両方を適切に行う。
- イ. レビューをすれば実行テストは不要である。
- ウ. テストだけ行い、設計内容は確認しない。
- エ. 不具合があっても修正しない。

解答・解説

正答：ア

ア：レビューとテストは異なる観点で問題を見つけるため、両方を適切に行う。 という説明が設問の目的・工程に一致します。

イ：レビューをすれば実行テストは不要である。 これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

ウ：テストだけ行い、設計内容は確認しない。 これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

エ：不具合があっても修正しない。 これは設問で問われているプログラミング・単体テストの目的やタイミングとは異なります。

総合解説：プログラミング工程では設計に基づいて実装し、単体テスト、デバッグ、コードレビューなどで個々のプログラム品質を確認します。

問題 0042

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：基礎

統合テストの主な目的はどれか。

- ア. 経営理念を策定する。
- イ. 単体テスト済みのプログラムを結合し、連携やシステムとしての動作を確認する。
- ウ. 調達先を決める。
- エ. 利用者の人事評価を行う。

解答・解説

正答：イ

ア：経営理念を策定する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：単体テスト済みのプログラムを結合し、連携やシステムとしての動作を確認する。 が設問の内容に合います。

ウ：調達先を決める。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

エ：利用者の人事評価を行う。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0043

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：基礎

ブラックボックステストの特徴として最も適切なものはどれか。

ア. 内部コード構造だけを基準にする。

イ. 市場占有率を分析する。

ウ. 内部構造に依存せず、入力と出力など外部仕様に基づいて確認する。

エ. 契約金額だけを確認する。

解答・解説

正答：ウ

ア：内部コード構造だけを基準にする。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：市場占有率を分析する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

ウ：内部構造に依存せず、入力と出力など外部仕様に基づいて確認する。 が設問の内容に合います。

エ：契約金額だけを確認する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0044

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：基礎

性能テストの目的として最も適切なものはどれか。

ア. 著作権を確認する。

イ. RFPを作成する。

ウ. 人事制度を確認する。

エ. 応答時間や処理能力などが要求水準を満たすか確認する。

解答・解説

正答：エ

ア：著作権を確認する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：RFPを作成する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

ウ：人事制度を確認する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

エ：応答時間や処理能力などが要求水準を満たすか確認する。 が設問の内容に合います。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0045

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：基礎

負荷テストの説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 多くのアクセスや処理を与え、負荷が高い状況での動作を確認する。
- イ. 通常利用者数だけを必ず1人に限定する。
- ウ. 設計書の誤字だけを確認する。
- エ. ソースコードを公開する。

解答・解説

正答：ア

ア：多くのアクセスや処理を与え、負荷が高い状況での動作を確認する。 が設問の内容に合います。

イ：通常利用者数だけを必ず1人に限定する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

ウ：設計書の誤字だけを確認する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

エ：ソースコードを公開する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0046

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：標準

回帰テストを実施する主な目的はどれか。

- ア. 新しい会社名を決める。
- イ. 変更・修正によって既存機能に悪影響が出ていないか確認する。
- ウ. 調達方法を選ぶ。
- エ. 市場成長率を計算する。

解答・解説

正答：イ

ア：新しい会社名を決める。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：変更・修正によって既存機能に悪影響が出ていないか確認する。 が設問の内容に合います。

ウ：調達方法を選ぶ。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

エ：市場成長率を計算する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0047

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：標準

受入れテストを主に行う立場として最も適切なものはどれか。

ア. 供給者だけで、取得者は関与しない。

イ. 広告代理店だけが行う。

ウ. 取得者（委託側）が供給者の支援を受けながら、意図した用途を満たすか確認する。

エ. 監査法人だけが必ず行う。

解答・解説

正答：ウ

ア：供給者だけで、取得者は関与しない。は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：広告代理店だけが行う。は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

ウ：取得者（委託側）が供給者の支援を受けながら、意図した用途を満たすか確認する。が設問の内容に合います。

エ：監査法人だけが必ず行う。は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0048

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：標準

システム移行の説明として最も適切なものはどれか。

ア. 古いデータを必ず全て削除すること。

イ. 新システム導入後に旧システムを永遠に併用すること。

ウ. 契約締結前にソースコードを全て廃棄すること。

エ. 旧システムから新システムへデータや業務を切り替えるための作業を計画・実施すること。

解答・解説

正答：エ

ア：古いデータを必ず全て削除すること。は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：新システム導入後に旧システムを永遠に併用すること。は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

ウ：契約締結前にソースコードを全て廃棄すること。は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

エ：旧システムから新システムへデータや業務を切り替えるための作業を計画・実施すること。が設問の内容に合います。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0049

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：標準

本番移行前に利用者教育を行う理由として最も適切なものはどれか。

- ア. 新しい操作や業務手順を理解してもらい、円滑な利用開始につなげるため。
- イ. 利用者に設計書を書かせるため。
- ウ. テストを不要にするため。
- エ. RFIを代替するため。

解答・解説

正答：ア

ア：新しい操作や業務手順を理解してもらい、円滑な利用開始につなげるため。 が設問の内容に合います。

イ：利用者に設計書を書かせるため。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

ウ：テストを不要にするため。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

エ：RFIを代替するため。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0050

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：標準

保守の目的として最も適切なものはどれか。

- ア. 開発済みシステムは一切変更しない。
- イ. 安定稼働や環境変化に対応するため、システムやソフトウェアを修正・変更・改善する。
- ウ. 必ず毎月全面再開発する。
- エ. 調達前に運用を終了する。

解答・解説

正答：イ

ア：開発済みシステムは一切変更しない。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：安定稼働や環境変化に対応するため、システムやソフトウェアを修正・変更・改善する。 が設問の内容に合います。

ウ：必ず毎月全面再開発する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

エ：調達前に運用を終了する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0051

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：標準

受入れテストで重大な要件未達が見つかった場合の対応として最も適切なものはどれか。

ア. 問題を記録せずそのまま受け入れる。

イ. 全ての要件を削除する。

ウ. 要件との不一致を確認し、修正や再確認など必要な対応を行う。

エ. 利用者に知らせず運用を開始する。

解答・解説

正答：ウ

ア：問題を記録せずそのまま受け入れる。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：全ての要件を削除する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

ウ：要件との不一致を確認し、修正や再確認など必要な対応を行う。 が設問の内容に合います。

エ：利用者に知らせず運用を開始する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0052

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：標準

移行時のリスク低減策として最も適切なものはどれか。

ア. 本番で初めて移行手順を試す。

イ. 移行対象データを確認しない。

ウ. 旧システムの停止時刻を関係者へ知らせない。

エ. 事前リハーサルやバックアップ、切戻し手順を準備する。

解答・解説

正答：エ

ア：本番で初めて移行手順を試す。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：移行対象データを確認しない。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

ウ：旧システムの停止時刻を関係者へ知らせない。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

エ：事前リハーサルやバックアップ、切戻し手順を準備する。 が設問の内容に合います。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0053

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：標準

テストの『計画・実施・評価』の関係として最も適切なものはどれか。

- ア. 事前に目的・条件を計画し、実施結果を目標や基準と比較して評価する。
- イ. 計画は不要で、実施結果も評価しない。
- ウ. 評価だけ行いテストは実施しない。
- エ. 実施後は結果を保存せず破棄する。

解答・解説

正答：ア

ア：事前に目的・条件を計画し、実施結果を目標や基準と比較して評価する。 が設問の内容に合います。

イ：計画は不要で、実施結果も評価しない。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

ウ：評価だけ行いテストは実施しない。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

エ：実施後は結果を保存せず破棄する。 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0054

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：応用

ソフトウェアの見積りでファンクションポイント法が着目するものとして最も適切なものはどれか。

- ア. ソースコードの文字色
- イ. 利用者から見た機能の規模
- ウ. 会社の資本金
- エ. サーバ室の床面積

解答・解説

正答：イ

ア：ソースコードの文字色 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：利用者から見た機能の規模 が設問の内容に合います。

ウ：会社の資本金 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

エ：サーバ室の床面積 は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0055

[3-2 システム開発技術] > [統合・受入れ・移行・保守] | 難易度：応用

既存システムに似た過去案件の実績を参考に、開発工数や期間を見積もる方法はどれか。

- ア. FP法だけ
- イ. 回帰テスト
- ウ. 類推見積法
- エ. RFI

解答・解説

正答：ウ

ア：FP法だけ は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

イ：回帰テスト は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

ウ：類推見積法 が設問の内容に合います。

エ：RFI は設問で問われる統合・受入れ・移行・保守の内容とは異なります。

総合解説：統合後のテスト、受入れ、移行、利用者教育、保守までを一連の開発ライフサイクルとして理解することが重要です。

問題 0056

[3-3 開発プロセス・手法] > [ウォーターフォール等の開発モデル] | 難易度：基礎

ウォーターフォールモデルの特徴として最も適切なものはどれか。

- ア. 毎日必ず本番リリースする。
- イ. 要件を定めずに実装だけ行う。
- ウ. 全工程を一人で同時に行う。
- エ. 要件定義、設計、実装、テストなどの工程を基本的に順序立てて進める。

解答・解説

正答：エ

ア：毎日必ず本番リリースする。 設問の開発モデルの特徴とは異なります。

イ：要件を定めずに実装だけ行う。 設問の開発モデルの特徴とは異なります。

ウ：全工程を一人で同時に行う。 設問の開発モデルの特徴とは異なります。

エ：要件定義、設計、実装、テストなどの工程を基本的に順序立てて進める。 開発モデルの特徴に一致します。

総合解説：ウォーターフォール、スパイラル、プロトタイプング、RADなどは、工程の進め方や利用者との確認方法に特徴があります。

問題 0057

[3-3 開発プロセス・手法] > [ウォーターフォール等の開発モデル] | 難易度：基礎

プロトタイピングモデルの特徴として最も適切なものはどれか。

- ア. 試作品を作り、利用者の評価を得ながら要求や仕様を具体化する。
- イ. 完成品を一度も利用者に見せない。
- ウ. 必ずソースコードを廃棄する。
- エ. テスト工程を全て省略する。

解答・解説

正答：ア

ア：試作品を作り、利用者の評価を得ながら要求や仕様を具体化する。開発モデルの特徴に一致します。

イ：完成品を一度も利用者に見せない。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

ウ：必ずソースコードを廃棄する。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

エ：テスト工程を全て省略する。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

総合解説：ウォーターフォール、スパイラル、プロトタイピング、RADなどは、工程の進め方や利用者との確認方法に特徴があります。

問題 0058

[3-3 開発プロセス・手法] > [ウォーターフォール等の開発モデル] | 難易度：標準

スパイラルモデルの特徴として最も適切なものはどれか。

- ア. 一度の工程だけで必ず完成させる。
- イ. 開発を段階的に繰り返し、評価やリスク確認を行いながら完成度を高める。
- ウ. 利用者確認を一切行わない。
- エ. 運用だけを対象にする。

解答・解説

正答：イ

ア：一度の工程だけで必ず完成させる。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

イ：開発を段階的に繰り返し、評価やリスク確認を行いながら完成度を高める。開発モデルの特徴に一致します。

ウ：利用者確認を一切行わない。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

エ：運用だけを対象にする。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

総合解説：ウォーターフォール、スパイラル、プロトタイピング、RADなどは、工程の進め方や利用者との確認方法に特徴があります。

問題 0059

[3-3 開発プロセス・手法] > [ウォーターフォール等の開発モデル] | 難易度：標準

RADの考え方として最も適切なものはどれか。

- ア. 開発期間を意図的に長くする。
- イ. 試作や再利用を禁止する。
- ウ. 開発支援ツールや部品再利用などを活用して短期間で開発する。
- エ. 利用者参加を避ける。

解答・解説

正答：ウ

ア：開発期間を意図的に長くする。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

イ：試作や再利用を禁止する。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

ウ：開発支援ツールや部品再利用などを活用して短期間で開発する。開発モデルの特徴に一致します。

エ：利用者参加を避ける。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

総合解説：ウォーターフォール、スパイラル、プロトタイピング、RADなどは、工程の進め方や利用者との確認方法に特徴があります。

問題 0060

[3-3 開発プロセス・手法] > [ウォーターフォール等の開発モデル] | 難易度：標準

ウォーターフォールモデルで、前工程の成果物を十分確認してから次工程へ進む理由として最も適切なものはどれか。

- ア. レビューを禁止するため。
- イ. 利用者要件を無視するため。
- ウ. テストをしないため。
- エ. 後工程での大きな手戻りを減らすため。

解答・解説

正答：エ

ア：レビューを禁止するため。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

イ：利用者要件を無視するため。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

ウ：テストをしないため。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

エ：後工程での大きな手戻りを減らすため。開発モデルの特徴に一致します。

総合解説：ウォーターフォール、スパイラル、プロトタイピング、RADなどは、工程の進め方や利用者との確認方法に特徴があります。

問題 0061

[3-3 開発プロセス・手法] > [ウォーターフォール等の開発モデル] | 難易度：標準

要求が変化しやすく、早い段階で画面イメージを利用者に確認したい場合に適した考え方はどれか。

ア. プロトタイピングを活用する。

イ. RFIだけを発行する。

ウ. 保守だけを行う。

エ. 完成まで一切見せない。

解答・解説

正答：ア

ア：プロトタイピングを活用する。開発モデルの特徴に一致します。

イ：RFIだけを発行する。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

ウ：保守だけを行う。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

エ：完成まで一切見せない。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

総合解説：ウォーターフォール、スパイラル、プロトタイピング、RADなどは、工程の進め方や利用者との確認方法に特徴があります。

問題 0062

[3-3 開発プロセス・手法] > [ウォーターフォール等の開発モデル] | 難易度：応用

リバースエンジニアリングの説明として最も適切なものはどれか。

ア. 設計書からコードだけを新規作成すること。

イ. 既存プログラムなどを解析して、その構造や仕様を明らかにすること。

ウ. 市場調査を行うこと。

エ. 要件定義を削除すること。

解答・解説

正答：イ

ア：設計書からコードだけを新規作成すること。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

イ：既存プログラムなどを解析して、その構造や仕様を明らかにすること。開発モデルの特徴に一致します。

ウ：市場調査を行うこと。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

エ：要件定義を削除すること。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

総合解説：ウォーターフォール、スパイラル、プロトタイピング、RADなどは、工程の進め方や利用者との確認方法に特徴があります。

問題 0063

[3-3 開発プロセス・手法] > [ウォーターフォール等の開発モデル] | 難易度：応用

開発モデルを選ぶ際の考え方として最も適切なものはどれか。

ア. 常に最新のモデルだけを選ぶ。

イ. 全ての案件で同じモデルを強制する。

ウ. 要求の安定性、リスク、期間、利用者との協働方法などを踏まえて選択する。

エ. 開発モデルは品質と無関係なので考慮しない。

解答・解説

正答：ウ

ア：常に最新のモデルだけを選ぶ。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

イ：全ての案件で同じモデルを強制する。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

ウ：要求の安定性、リスク、期間、利用者との協働方法などを踏まえて選択する。開発モデルの特徴に一致します。

エ：開発モデルは品質と無関係なので考慮しない。設問の開発モデルの特徴とは異なります。

総合解説：ウォーターフォール、スパイラル、プロトタイピング、RADなどは、工程の進め方や利用者との確認方法に特徴があります。

問題 0064

[3-3 開発プロセス・手法] > [アジャイル・スクラム] | 難易度：基礎

アジャイル開発の特徴として最も適切なものはどれか。

ア. 要件変更を必ず禁止する。

イ. 利用者や顧客との対話を行わない。

ウ. 最後まで動くソフトウェアを作らない。

エ. 短い反復を繰り返し、変化へ適応しながら価値を提供する。

解答・解説

正答：エ

ア：要件変更を必ず禁止する。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

イ：利用者や顧客との対話を行わない。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

ウ：最後まで動くソフトウェアを作らない。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

エ：短い反復を繰り返し、変化へ適応しながら価値を提供する。これはアジャイル／スクラムの考え方に合います。

総合解説：アジャイルは短い反復とフィードバックで価値を提供し、スクラムではスプリント、バックログ、ふりかえりなどの用語を用います。

問題 0065

[3-3 開発プロセス・手法] > [アジャイル・スクラム] | 難易度：基礎

スクラムで一定期間の反復開発単位を表す用語はどれか。

ア. スプリント

イ. RFI

ウ. SLA

エ. FP

解答・解説

正答：ア

ア：スプリント これはアジャイル／スクラムの考え方に合います。

イ：RFI これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

ウ：SLA これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

エ：FP これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

総合解説：アジャイルは短い反復とフィードバックで価値を提供し、スクラムではスプリント、バックログ、ふりかえりなどの用語を用います。

問題 0066

[3-3 開発プロセス・手法] > [アジャイル・スクラム] | 難易度：標準

プロダクトバックログの説明として最も適切なものはどれか。

ア. 運用障害だけを記録する一覧。

イ. 製品に必要な機能や改善などを優先順位付きで整理した一覧。

ウ. 契約金額だけを記載する一覧。

エ. 社員の人事評価一覧。

解答・解説

正答：イ

ア：運用障害だけを記録する一覧。 これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

イ：製品に必要な機能や改善などを優先順位付きで整理した一覧。 これはアジャイル／スクラムの考え方に合います。

ウ：契約金額だけを記載する一覧。 これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

エ：社員の人事評価一覧。 これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

総合解説：アジャイルは短い反復とフィードバックで価値を提供し、スクラムではスプリント、バックログ、ふりかえりなどの用語を用います。

問題 0067

[3-3 開発プロセス・手法] > [アジャイル・スクラム] | 難易度：標準

スプリントバックログの説明として最も適切なものはどれか。

- ア. 会社全体の経営理念。
- イ. システム監査報告書。
- ウ. そのスプリントで取り組む項目や作業をまとめたもの。
- エ. 全ての将来案件の予算表。

解答・解説

正答：ウ

ア：会社全体の経営理念。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

イ：システム監査報告書。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

ウ：そのスプリントで取り組む項目や作業をまとめたもの。これはアジャイル／スクラムの考え方に合います。

エ：全ての将来案件の予算表。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

総合解説：アジャイルは短い反復とフィードバックで価値を提供し、スクラムではスプリント、バックログ、ふりかえりなどの用語を用います。

問題 0068

[3-3 開発プロセス・手法] > [アジャイル・スクラム] | 難易度：標準

ユーザーストーリーの目的として最も適切なものはどれか。

- ア. ソースコードの文法だけを記録する。
- イ. 契約書の代わりにする。
- ウ. ネットワーク構成だけを記載する。
- エ. 利用者の視点から必要な価値や機能を簡潔に表す。

解答・解説

正答：エ

ア：ソースコードの文法だけを記録する。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

イ：契約書の代わりにする。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

ウ：ネットワーク構成だけを記載する。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

エ：利用者の視点から必要な価値や機能を簡潔に表す。これはアジャイル／スクラムの考え方に合います。

総合解説：アジャイルは短い反復とフィードバックで価値を提供し、スクラムではスプリント、バックログ、ふりかえりなどの用語を用います。

問題 0069

[3-3 開発プロセス・手法] > [アジャイル・スクラム] | 難易度：標準

レトロスペクティブ（ふりかえり）の目的として最も適切なものはどれか。

- ア. チームの進め方を振り返り、改善点を次の活動へ反映すること。
- イ. 次のスプリントを中止すること。
- ウ. 利用者要求を全て削除すること。
- エ. 完成した機能を必ず廃棄すること。

解答・解説

正答：ア

ア：チームの進め方を振り返り、改善点を次の活動へ反映すること。これはアジャイル／スクラムの考え方に合います。

イ：次のスプリントを中止すること。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

ウ：利用者要求を全て削除すること。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

エ：完成した機能を必ず廃棄すること。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

総合解説：アジャイルは短い反復とフィードバックで価値を提供し、スクラムではスプリント、バックログ、ふりかえりなどの用語を用います。

問題 0070

[3-3 開発プロセス・手法] > [アジャイル・スクラム] | 難易度：応用

継続的インテグレーション（CI）の考え方として最も適切なものはどれか。

- ア. 変更を長期間統合しない。
- イ. コード変更を頻繁に統合し、自動テストなどで問題を早く検出する。
- ウ. テストを実施しない。
- エ. 本番障害だけを記録する。

解答・解説

正答：イ

ア：変更を長期間統合しない。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

イ：コード変更を頻繁に統合し、自動テストなどで問題を早く検出する。これはアジャイル／スクラムの考え方に合います。

ウ：テストを実施しない。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

エ：本番障害だけを記録する。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

総合解説：アジャイルは短い反復とフィードバックで価値を提供し、スクラムではスプリント、バックログ、ふりかえりなどの用語を用います。

問題 0071

[3-3 開発プロセス・手法] > [アジャイル・スクラム] | 難易度：応用

アジャイル開発で要求変更への対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 変更は理由に関係なく拒否する。
- イ. 全ての変更を無条件で直ちに実装する。
- ウ. 価値や優先度を確認し、バックログなどを見直しながら反復の中で対応する。
- エ. 変更内容を記録せず対応する。

解答・解説

正答：ウ

ア：変更は理由に関係なく拒否する。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

イ：全ての変更を無条件で直ちに実装する。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

ウ：価値や優先度を確認し、バックログなどを見直しながら反復の中で対応する。これはアジャイル／スクラムの考え方に合います。

エ：変更内容を記録せず対応する。これはアジャイル／スクラムの基本的な考え方とは異なります。

総合解説：アジャイルは短い反復とフィードバックで価値を提供し、スクラムではスプリント、バックログ、ふりかえりなどの用語を用います。

問題 0072

[3-3 開発プロセス・手法] > [DevOps・MLOps・共通フレーム・CMMI] | 難易度：基礎

DevOpsの基本的な考え方として最も適切なものはどれか。

- ア. 開発と運用の情報共有を禁止する。
- イ. 運用開始後は開発者が一切関与しない。
- ウ. 自動化を必ず禁止する。
- エ. 開発と運用が連携し、継続的に価値提供や改善を行う。

解答・解説

正答：エ

ア：開発と運用の情報共有を禁止する。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

イ：運用開始後は開発者が一切関与しない。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

ウ：自動化を必ず禁止する。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

エ：開発と運用が連携し、継続的に価値提供や改善を行う。これは設問で問う開発管理の考え方に一致します。

総合解説：DevOps、MLOps、共通フレーム、CMMIは目的が異なります。ITパスポートでは各手法・フレームワークの概要と狙いを区別します。

問題 0073

[3-3 開発プロセス・手法] > [DevOps・MLOps・共通フレーム・CMMI] | 難易度：基礎

MLOpsが主に対象とするものはどれか。

- ア. 機械学習モデルの開発・配備・運用を継続的に管理する取組。
- イ. 会計監査だけ。
- ウ. 紙の帳票の保管だけ。
- エ. 企業買収だけ。

解答・解説

正答：ア

ア：機械学習モデルの開発・配備・運用を継続的に管理する取組。これは設問で問う開発管理の考え方に一致します。

イ：会計監査だけ。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

ウ：紙の帳票の保管だけ。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

エ：企業買収だけ。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

総合解説：DevOps、MLOps、共通フレーム、CMMIは目的が異なります。ITパスポートでは各手法・フレームワークの概要と狙いを区別します。

問題 0074

[3-3 開発プロセス・手法] > [DevOps・MLOps・共通フレーム・CMMI] | 難易度：標準

共通フレーム（SLCP）の目的として最も適切なものはどれか。

- ア. 企業ごとに用語を意図的に異ならせる。
- イ. ソフトウェア開発や取引で用いる作業項目を定義・標準化し、関係者の共通理解を支援する。
- ウ. 開発作業を全て省略する。
- エ. プログラム言語を一つに固定する。

解答・解説

正答：イ

ア：企業ごとに用語を意図的に異ならせる。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

イ：ソフトウェア開発や取引で用いる作業項目を定義・標準化し、関係者の共通理解を支援する。これは設問で問う開発管理の考え方に一致します。

ウ：開発作業を全て省略する。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

エ：プログラム言語を一つに固定する。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

総合解説：DevOps、MLOps、共通フレーム、CMMIは目的が異なります。ITパスポートでは各手法・フレームワークの概要と狙いを区別します。

問題 0075

[3-3 開発プロセス・手法] > [DevOps・MLOps・共通フレーム・CMMI] | 難易度：標準

CMMIの説明として最も適切なものはどれか。

ア. 製品価格の決め方を示すモデル。

イ. ネットワーク通信速度の規格。

ウ. 開発・保守プロセスの成熟度を評価・改善するためのモデルで、成熟度を5段階で表す考え方がある。

エ. 会計処理の法律。

解答・解説

正答：ウ

ア：製品価格の決め方を示すモデル。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

イ：ネットワーク通信速度の規格。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

ウ：開発・保守プロセスの成熟度を評価・改善するためのモデルで、成熟度を5段階で表す考え方がある。これは設問で問う開発管理の考え方に一致します。

エ：会計処理の法律。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

総合解説：DevOps、MLOps、共通フレーム、CMMIは目的が異なります。ITパスポートでは各手法・フレームワークの概要と狙いを区別します。

問題 0076

[3-3 開発プロセス・手法] > [DevOps・MLOps・共通フレーム・CMMI] | 難易度：標準

DevOpsで自動化を活用する目的として最も適切なものはどれか。

ア. 人と人の連携を完全になくす。

イ. 品質確認を廃止する。

ウ. 要件を一切管理しない。

エ. ビルド、テスト、配備などを効率化し、変更を迅速かつ安定的に届けやすくする。

解答・解説

正答：エ

ア：人と人の連携を完全になくす。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

イ：品質確認を廃止する。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

ウ：要件を一切管理しない。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

エ：ビルド、テスト、配備などを効率化し、変更を迅速かつ安定的に届けやすくする。これは設問で問う開発管理の考え方に一致します。

総合解説：DevOps、MLOps、共通フレーム、CMMIは目的が異なります。ITパスポートでは各手法・フレームワークの概要と狙いを区別します。

問題 0077

[3-3 開発プロセス・手法] > [DevOps・MLOps・共通フレーム・CMMI] | 難易度：標準

機械学習モデルを本番運用した後も、データ変化による精度低下を監視し、再学習や再配備を行う考え方に最も近いものはどれか。

- ア. MLOps
- イ. M&A
- ウ. PPM
- エ. RFI

解答・解説

正答：ア

ア：MLOps これは設問で問う開発管理の考え方に一致します。

イ：M&A これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

ウ：PPM これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

エ：RFI これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

総合解説：DevOps、MLOps、共通フレーム、CMMIは目的が異なります。ITパスポートでは各手法・フレームワークの概要と狙いを区別します。

問題 0078

[3-3 開発プロセス・手法] > [DevOps・MLOps・共通フレーム・CMMI] | 難易度：応用

共通フレームを利用する利点として最も適切なものはどれか。

- ア. 設計やテストが不要になる。
- イ. 受発注者が工程や作業の共通認識を持ちやすくなる。
- ウ. 全ての案件の価格が同じになる。
- エ. 契約責任が自動的に消える。

解答・解説

正答：イ

ア：設計やテストが不要になる。 これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

イ：受発注者が工程や作業の共通認識を持ちやすくなる。 これは設問で問う開発管理の考え方に一致します。

ウ：全ての案件の価格が同じになる。 これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

エ：契約責任が自動的に消える。 これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

総合解説：DevOps、MLOps、共通フレーム、CMMIは目的が異なります。ITパスポートでは各手法・フレームワークの概要と狙いを区別します。

問題 0079

[3-3 開発プロセス・手法] > [DevOps・MLOps・共通フレーム・CMMI] | 難易度：応用

CMMIを組織の改善に利用する考え方として最も適切なものはどれか。

ア. 成熟度評価は一度行えば以後の改善は不要である。

イ. 製品の販売価格だけを評価する。

ウ. 開発・保守プロセスの現状を評価し、継続的な改善に役立てる。

エ. ネットワーク障害だけを測定する。

解答・解説

正答：ウ

ア：成熟度評価は一度行えば以後の改善は不要である。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

イ：製品の販売価格だけを評価する。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

ウ：開発・保守プロセスの現状を評価し、継続的な改善に役立てる。これは設問で問う開発管理の考え方に一致します。

エ：ネットワーク障害だけを測定する。これは該当する開発管理手法の目的・特徴とは異なります。

総合解説：DevOps、MLOps、共通フレーム、CMMIは目的が異なります。ITパスポートでは各手法・フレームワークの概要と狙いを区別します。

問題 0080

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：基礎

次のうち、プロジェクトの特徴を正しく表しているものはどれか。

ア. 同じ手順を期限なく繰り返す定常業務だけを指す。

イ. 担当者が一人でなければプロジェクトとは呼べない。

ウ. 成果物を定めずに進める活動だけを指す。

エ. 特定の目的を達成するため、開始と終了がある一時的な活動である。

解答・解説

正答：エ

ア：反復的な定常業務は一般にプロジェクトとは区別されます。

イ：人数はプロジェクトの成立条件ではありません。

ウ：目的や成果物を明確にして進めることが重要です。

エ：プロジェクトは固有の目的を達成するため、期限を定めて実施する一時的な活動です。

総合解説：プロジェクトは目的、成果物、期間などが定められた一時的な取組です。

問題 0081

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：標準

システム開発プロジェクトでプロジェクトマネジメントを行う主な目的として、最も適切なものはどれか。

ア. 計画に基づいて進捗、コスト、品質、資源などを管理し、プロジェクト目標の達成を支援する。

イ. プログラムのコーディングだけを高速化する。

ウ. 全てのリスクを完全にゼロにする。

エ. 計画を作らず担当者の経験だけで進める。

解答・解説

正答：ア

ア：複数の管理対象を調整しながら目標達成を目指します。

イ：コーディングは開発活動の一部で、全体の目的ではありません。

ウ：リスクを適切に管理しますが、全てをゼロにできるとは限りません。

エ：計画と進捗管理が必要です。

総合解説：プロジェクトマネジメントは立上げ、計画、実行、管理、完了までを通じて目標達成を支援します。

問題 0082

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：標準

プロジェクトの目的や概要を示し、プロジェクトを正式に立ち上げる際に用いられる文書として最も適切なものはどれか。

ア. SLA

イ. プロジェクト憲章

ウ. RFP

エ. 利用者マニュアル

解答・解説

正答：イ

ア：SLAはサービスレベルの合意文書です。

イ：プロジェクト憲章は目的や概要などを示し、正式な開始の根拠となる文書です。

ウ：RFPIはベンダーへ提案を依頼する文書です。

エ：利用者マニュアルはシステム利用方法を説明する文書です。

総合解説：ITパスポートではプロジェクト憲章をプロジェクト立上げの基本用語として理解します。

問題 0083

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：基礎

作業範囲を定めるプロジェクトスコープについて、正しい説明はどれか。

- ア. 組織全体の年間売上高だけを示したもの
- イ. 開発者一人の勤務時間だけを示したもの
- ウ. プロジェクトで実施する作業や成果物の範囲を明確にしたもの
- エ. 稼働後の障害記録だけをまとめたもの

解答・解説

正答：ウ

ア：売上高だけでは作業や成果物の範囲を示せません。

イ：個人の勤務時間はスコープそのものではありません。

ウ：スコープは何を実施し、何を成果として提供するかという範囲を示します。

エ：障害記録は運用情報で、スコープとは異なります。

総合解説：スコープを明確にすると対象外の要求が無制限に追加されることを防ぎやすくなります。

問題 0084

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：標準

WBS (Work Breakdown Structure) の主な目的はどれか。

- ア. ネットワーク通信を暗号化する。
- イ. 顧客データを購買金額順に分類する。
- ウ. データベースの表を正規化する。
- エ. プロジェクトの作業を管理可能な単位へ階層的に分解し、必要な作業を明確にする。

解答・解説

正答：エ

ア：暗号化はセキュリティ技術でWBSの目的ではありません。

イ：顧客分析の内容でWBSではありません。

ウ：データベース設計の作業でWBSの目的ではありません。

エ：WBSは成果物や作業を階層的に分解し、見積りや役割分担の基礎にします。

総合解説：WBSは作業漏れを防ぎ、見積り、割当て、進捗管理を行いやすくします。

問題 0085

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：応用

WBSを作成するときの考え方として、最も適切なものはどれか。

- ア. 上位の成果や作業を、担当・見積り・進捗管理が行いやすい単位まで段階的に分解する。
- イ. 全ての作業を一つの大きな作業項目として扱う。
- ウ. 作業内容ではなく担当者名だけで階層化する。
- エ. 完了した作業だけを後から記録する。

解答・解説

正答：ア

ア：管理に使える粒度まで作業を分解します。

イ：大きすぎる単位では担当や進捗を把握しにくくなります。

ウ：WBSは作業・成果物を中心に分解します。

エ：計画段階から必要作業を整理するために用います。

総合解説：WBSの粒度は細かければよいのではなく、管理可能性とのバランスが重要です。

問題 0086

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：標準

プロジェクトでいう成果物の例として、最も適切なものはどれか。

- ア. 会議室の室温だけ
- イ. 完成した業務システムや設計書など、プロジェクト活動によって作成・提供されるもの
- ウ. 担当者の通勤経路だけ
- エ. 会社の設立年月日だけ

解答・解説

正答：イ

ア：プロジェクト成果として定義されていない室温は通常成果物ではありません。

イ：成果物はプロジェクト活動の結果として作成される製品、文書、サービスなどです。

ウ：プロジェクトの成果物とは関係しません。

エ：プロジェクト活動によって作成されるものではありません。

総合解説：成果物を明確にするとスコープや完了条件を定義しやすくなります。

問題 0087

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：基礎

プロジェクトの結果から影響を受ける利用部門、顧客、経営者、開発者などを総称する用語はどれか。

- ア. デバッガ
- イ. コンパイラ
- ウ. ステークホルダ
- エ. ファームウェア

解答・解説

正答：ウ

ア：プログラムの不具合調査などに使うツールです。

イ：プログラムを翻訳するソフトウェアです。

ウ：影響を与えたり受けたりする関係者をステークホルダといいます。

エ：機器内部で動作する制御用ソフトウェアです。

総合解説：異なる立場のステークホルダの期待や要求を把握して調整することが重要です。

問題 0088

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：標準

プロジェクトマネージャの役割として、最も適切なものはどれか。

- ア. 必ず全プログラムを一人で実装する。
- イ. 利用者からの問い合わせだけを受け付ける。
- ウ. 監査対象部門から独立して監査証拠だけを収集する。
- エ. プロジェクト全体を見渡し、目標達成に向けて計画、調整、進捗管理などを行う。

解答・解説

正答：エ

ア：全コードを一人で作ることが役割ではありません。

イ：これはサービスデスクの役割に近い説明です。

ウ：これはシステム監査人の役割に近い説明です。

エ：全体の目標達成に責任を持ち、関係者や各管理項目を調整します。

総合解説：プロジェクトマネージャはスケジュール、コスト、品質、資源、リスク、コミュニケーションなどを総合調整します。

問題 0089

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：標準

プロジェクト途中で、承認手続きをせず利用部門からの追加要望を次々に取り込み、作業範囲が当初計画より大幅に広がった。対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 追加要求の影響を評価し、正式な変更手続きを通じてスコープや計画を更新する。
- イ. 全ての追加要求を無条件に受け入れる。
- ウ. 追加要求を記録せず担当者判断だけで実装する。
- エ. 当初計画を破棄し期限を無制限に延ばす。

解答・解説

正答：ア

ア：追加要求はコストや納期へ影響するため、影響評価と承認を経て管理します。

イ：範囲拡大が制御不能になるおそれがあります。

ウ：変更履歴や影響を管理できません。

エ：変更の影響を評価し合意形成する必要があります。

総合解説：承認のない範囲拡大はスコープクリープにつながります。

問題 0090

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：基礎

WBSを作成した後、各作業項目に担当者を割り当てたい。WBSを利用する利点として最も適切なものはどれか。

- ア. ネットワークのIPアドレスが自動的に決まる。
- イ. 必要な作業が明確になるため、担当や期限を具体的に割り当てやすくなる。
- ウ. プログラムのバグが自動修正される。
- エ. 顧客とのSLAが自動的に締結される。

解答・解説

正答：イ

ア：WBSにはIPアドレスを設定する機能はありません。

イ：作業単位が明確になると担当、工数、期限の計画に活用できます。

ウ：WBSはデバッグツールではありません。

エ：SLAは顧客との合意文書でWBSから自動締結されません。

総合解説：WBSは役割分担、見積り、スケジュール管理の土台になります。

問題 0091 [3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：標準

成果物の完了を客観的に判断し、関係者間の認識違いを減らすために、プロジェクト計画で特に明確にしておくべきものはどれか。

- ア. 担当者の趣味
- イ. 会社の株価だけ
- ウ. 成果物の範囲と受入れ・完了の基準
- エ. 開発者の通勤時間

解答・解説

正答：ウ

ア：成果物の完了判断とは関係ありません。

イ：プロジェクト成果物の完了基準とは直接関係しません。

ウ：何を作り、どの状態なら完了とするかを明確にすると曖昧さを減らせます。

エ：成果物の受入れ条件とは関係ありません。

総合解説：スコープ、成果物、受入れ条件を明確にすると作業漏れや認識相違を防ぎやすくなります。

問題 0092 [3-4 プロジェクトマネジメント] > [プロジェクト・スコープ・WBS] | 難易度：応用

新しい社内システム開発をプロジェクトとして開始する。適切な進め方として最も適切なものはどれか。

- ア. 計画を作らず開発を始め、終了後に初めて目的を決める。
- イ. スコープを決めず追加要望を無制限に取り込む。
- ウ. ステークホルダとの確認を避け開発チーム内だけで全て決める。
- エ. 目的や関係者を確認してプロジェクトを立ち上げ、スコープやWBSなどを計画し、実行後も進捗を管理する。

解答・解説

正答：エ

ア：目的と計画を事前に明確化する必要があります。

イ：スコープ管理ができず納期やコストへ影響します。

ウ：関係者の要求や期待の把握が不足します。

エ：立上げ、計画、実行、管理という基本的な流れを踏まえています。

総合解説：プロジェクトマネジメントでは計画と関係者調整を一体として捉えます。

問題 0093

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：標準

作業項目を縦軸、時間を横軸にとり、各作業の予定期間を棒で表す図はどれか。

ア. ガントチャート

イ. E-R図

ウ. バレート図

エ. ベン図

解答・解説

正答：ア

ア：ガントチャートは作業と期間を棒状に表し、スケジュールを視覚的に把握できます。

イ：データベースの実体と関連を表します。

ウ：項目を大きい順に並べ重点項目を把握します。

エ：集合の関係を表します。

総合解説：ガントチャートは開始・終了予定や進捗状況を把握する代表的な図です。

問題 0094

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：基礎

プロジェクトの作業順序や前後関係を矢印などで表し、日程を検討するために用いる図はどれか。

ア. 散布図

イ. アローダイアグラム

ウ. ヒストグラム

エ. レーダーチャート

解答・解説

正答：イ

ア：二つの量の関係を見る統計図です。

イ：アローダイアグラムは作業の順序関係を表し日程分析に使います。

ウ：度数分布を表します。

エ：複数指標を放射状に比較します。

総合解説：ガントチャートとアローダイアグラムの用途を区別して理解します。

問題 0095

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：標準

作業Bは作業Aが完了しなければ開始できない。この条件をスケジュールへ反映する際に重要な考え方はどれか。

- ア. 全作業を必ず同時に開始する。
- イ. 作業名を全て同じにする。
- ウ. 作業間の前後関係・依存関係を明確にする。
- エ. 担当者数だけで開始日を決める。

解答・解説

正答：ウ

ア：依存関係を無視すると実行できない計画になります。

イ：作業名の統一では依存関係を管理できません。

ウ：先行作業が完了しないと開始できない場合、作業順序を日程へ反映します。

エ：依存関係や資源、期限などを総合して決めます。

総合解説：スケジュール計画では作業期間だけでなく依存関係も把握します。

問題 0096

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：標準

複数の作業経路があるプロジェクトで、全体の完了時期に直接影響する最も所要時間の長い経路を何というか。

- ア. データパス
- イ. アクセスパス
- ウ. ロードマップ
- エ. クリティカルパス

解答・解説

正答：エ

ア：CPU内部などのデータ経路の用語です。

イ：設問の日程分析用語ではありません。

ウ：将来計画を時間軸で示す資料で、日程ネットワークの最長経路ではありません。

エ：クリティカルパス上の作業が遅れると、全体完了も遅れる可能性があります。

総合解説：ITパスポートでは高度な計算より、クリティカルパスの意味と遅延影響を理解します。

問題 0097

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：基礎

ある作業を3人で5日間行い、各人が1日分の作業量を担当するとする。この作業の工数を人日で表すといくらか。

- ア. 15人日（人数と作業日数を乗じて求めた総工数）
- イ. 8人日（人数と日数を加算した誤計算）
- ウ. 5人日（日数だけを総工数とみなした値）
- エ. 30人日（正しい積をさらに倍にした過大な値）

解答・解説

正答：ア

ア：3人×5日＝15人日です。

イ：人数と日数を加算するものではありません。

ウ：日数だけでは総工数を表していません。

エ：3×5の2倍であり条件からは求まりません。

総合解説：人日は人数×日数で表す工数の単位です。人数を増やせば必ず期間が反比例して短くなるとは限りません。

問題 0098

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：応用

開発作業が遅れているため、残り期間を半分にする目的で担当者数を単純に2倍へ増やそうとしている。最も適切な考え方はどれか。

- ア. 担当者数を2倍にすればどの作業でも必ず期間が半分になる。
- イ. 作業の分割可能性や教育・連携コストを考慮し、増員で期間が単純に半分になるとは限らないと判断する。
- ウ. 遅延時は必ず全担当者を交代させる。
- エ. 遅延しても計画を一切見直さない。

解答・解説

正答：イ

ア：分割できない作業や調整コストがあるため常には成り立ちません。

イ：ソフトウェア開発では調整や引継ぎが必要で、人数と期間が単純な反比例になるとは限りません。

ウ：原因を分析せず全員交代するのは適切ではありません。

エ：必要に応じて計画や資源配分を見直します。

総合解説：資源管理では人数だけでなく技能、依存関係、コミュニケーション負荷も考えます。

問題 0099

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：標準

プロジェクトのコスト管理として、最も適切なものはどれか。

ア. コストは終了後だけ確認し実行中は把握しない。

イ. 予算を決めず必要なだけ無制限に支出する。

ウ. 必要な人員、外部委託、機器などの費用を見積もり、実績を把握して計画との差を管理する。

エ. 人件費だけを考え他の費用は全て無視する。

解答・解説

正答：ウ

ア：途中で差異を把握できず是正が遅れます。

イ：プロジェクト管理として不適切です。

ウ：コストは計画時に見積もり、実行中に実績との差異を把握します。

エ：外注、機器、ライセンスなども考慮します。

総合解説：コスト管理は見積り、予算化、実績把握、差異確認を通じて行います。

問題 0100

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：標準

予定作業の80%が完了していると報告されたが、残っている20%に最も難しい作業が集中している。進捗判断として最も適切なものはどれか。

ア. 80%完了なので必ず工数も80%消化済みとみなす。

イ. 残作業を確認せず必ず予定どおりと判断する。

ウ. 完了した作業を全て未完了に戻す。

エ. 完了件数だけでなく、残作業の工数や難易度、依存関係も確認する。

解答・解説

正答：エ

ア：作業ごとの工数が異なるため件数と工数は一致しません。

イ：重要な遅延リスクを見逃す可能性があります。

ウ：進捗把握の方法として不適切です。

エ：件数ベースの進捗率だけでは残り作業量を正確に表せないことがあります。

総合解説：進捗管理では作業量、難易度、重要度、期限への影響も確認します。

問題 0101

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：基礎

同じ専門技術者が二つの重要作業に同じ期間で割り当てられており、両方を同時には担当できない。最も適切な対応はどれか。

- ア. 優先度や日程を調整し、必要に応じて別の要員を確保するなど資源配分を見直す。
- イ. 両作業を同じ技術者が同じ時間に100%ずつ担当すると計画する。
- ウ. 競合を記録せず現場任せにする。
- エ. どちらの作業も期限を削除する。

解答・解説

正答：ア

ア：限られた人的資源が競合しているため日程や担当の調整が必要です。

イ：一人の資源を二重計上しており実行できません。

ウ：遅延や品質低下につながります。

エ：影響を踏まえて調整すべきです。

総合解説：スケジュールと資源割当てを合わせて確認し競合を解消します。

問題 0102

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：標準

ガントチャートで予定期間と実績を比較したところ、作業Cの完了が予定より遅れていることが分かった。次に行うべき対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 遅延を隠すため実績を予定日に書き換える。
- イ. 後続作業や全体納期への影響を確認し、必要に応じて計画や資源配分を見直す。
- ウ. 全作業の開始日を無条件に同じ日に変更する。
- エ. 後続作業への影響を確認せず放置する。

解答・解説

正答：イ

ア：事実を改ざんすると適切な管理ができません。

イ：遅延を見つけたら影響を分析し具体的な是正策を検討します。

ウ：依存関係や資源を無視しています。

エ：全体納期に影響する可能性があります。

総合解説：スケジュール管理は予定と実績を比較し差異へ対応することまで含みます。

問題 0103

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：応用

納期短縮を検討する際、どの作業を重点的に確認するのが合理的か。

ア. 既に完了しており全体日程に影響しない作業だけ

イ. 作業名が最も短い作業だけ

ウ. プロジェクト全体の完了時期に直接影響する作業

エ. 担当者の人数が偶数の作業だけ

解答・解説

正答：ウ

ア：今後の納期短縮には寄与しません。

イ：名称の長さは日程影響と無関係です。

ウ：全体完了時期を決める経路上の作業を短縮できれば納期短縮につながりやすいです。

エ：人数の偶奇は判断基準ではありません。

総合解説：日程短縮では全体納期への影響が大きい作業を優先して分析します。

問題 0104

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：基礎

納期を短縮するため外部要員を追加すると、コストは増えるが作業期間を短縮できる見込みがある。プロジェクトマネージャの判断として最も適切なものはどれか。

ア. 納期短縮だけを見てコスト増を無視する。

イ. コストだけを見て納期への影響を無視する。

ウ. 影響分析をせず担当者が独断で決める。

エ. 納期、コスト、品質、リスクへの影響を比較し、関係者と合意した上で変更する。

解答・解説

正答：エ

ア：予算超過のリスクを把握できません。

イ：プロジェクト目標全体を考慮していません。

ウ：変更の影響を確認し必要な合意を得るべきです。

エ：一つの目標だけでなく複数の制約・影響を総合して判断します。

総合解説：納期、コスト、品質、資源は相互に影響するため全体最適で判断します。

問題 0105

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [スケジュール・コスト・資源管理] | 難易度：標準

高度なデータベース設計が必要な作業に、経験のない担当者だけを割り当てたため遅延が懸念されている。資源管理として最も適切な対応はどれか。

ア. 必要スキルを確認し、教育や経験者の支援・再配置などを検討する。

イ. 人数だけ合っていれば技能は考慮しない。

ウ. 遅延が発生するまで何も確認しない。

エ. 作業を担当者の技能と無関係な内容に変更する。

解答・解説

正答：ア

ア：人的資源は人数だけでなく必要な能力や経験との適合も重要です。

イ：能力不足は品質や納期に影響します。

ウ：早期にスキルギャップを把握して対応すべきです。

エ：成果物要件を無視した変更は適切ではありません。

総合解説：最適な人的資源の配置では人数、技能、経験、稼働可能時期を考慮します。

問題 0106

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：標準

プロジェクトにおける品質管理の考え方として、最も適切なものはどれか。

ア. 品質は納品後にだけ考える。

イ. 成果物が要求された品質を満たすよう、基準を定めて確認・改善する。

ウ. 品質を上げるため要求にない機能を必ず追加する。

エ. 不具合件数を記録せず感覚だけで判断する。

解答・解説

正答：イ

ア：開発途中から品質を作り込み確認することが重要です。

イ：要求や品質基準に対して成果物・プロセスを確認し必要に応じて改善します。

ウ：不要機能の追加はスコープやコストに悪影響を与えます。

エ：客観的な基準や実績が必要です。

総合解説：品質はテストだけでなく計画、レビュー、改善を通じて管理します。

問題 0107

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：応用

設計書を複数の関係者で確認し、誤りや抜けを早期に見つける活動として最も適切なものはどれか。

- ア. バックアップ
- イ. 暗号化
- ウ. レビュー
- エ. ロードバランシング

解答・解説

正答：ウ

ア：データ消失に備えて複製を保存することです。

イ：データを第三者が読みにくい形へ変換する技術です。

ウ：レビューは成果物を関係者が確認し不備や改善点を早期に発見する活動です。

エ：処理を複数装置へ分散する技術です。

総合解説：レビューを早期に行うと後工程での大きな手戻りを減らしやすくなります。

問題 0108

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：基礎

将来の不確実な事象として扱うプロジェクトリスクについて、正しい説明はどれか。

- ア. 既に確定して発生している不具合だけ
- イ. プロジェクトに全く影響しない出来事だけ
- ウ. 必ず良い結果だけをもたらす出来事だけ
- エ. 将来発生するか不確実で、発生するとプロジェクト目標へ影響を与える事象

解答・解説

正答：エ

ア：既に発生した事象は問題として扱います。

イ：目標への影響がなければ重要な管理対象にはなりません。

ウ：リスク管理では不確実性と影響を扱います。

エ：リスクは不確実性を伴う将来事象で、発生確率や影響を考えて管理します。

総合解説：リスクを早期に識別し発生確率や影響度を見て優先順位を決めます。

問題 0109

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：標準

外部サービスAを使うと重大な法令違反リスクがあるため、そのサービスを使わない方式へ計画を変更した。この対応はどれか。

- ア. 回避：リスク原因となる外部サービスを使わない方式へ変更する
- イ. 軽減：外部サービスを使い続けながら監視を増やす
- ウ. 転嫁：損失に備えて保険だけを契約する
- エ. 受容：追加対策をせず発生時に対応する

解答・解説

正答：ア

ア：リスク源となる活動をやめるため回避に該当します。

イ：発生確率や影響を小さくする考え方ですが、設問ではサービス利用自体をやめています。

ウ：損失負担を第三者へ移す対応で、設問の方式変更とは異なります。

エ：リスクを受け入れる対応で、設問ではリスク源を取り除いています。

総合解説：代表的なリスク対応は回避、軽減、転嫁、受容です。

問題 0110

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：標準

サーバ障害による停止リスクを下げるため、冗長化して一台故障してもサービスを継続できるようにした。この対応はどれか。

- ア. 回避：サービスそのものを停止する
- イ. 軽減：冗長化によって障害時の影響を小さくする
- ウ. 転嫁：障害損失を契約で第三者へ移す
- エ. 受容：冗長化せず障害発生を受け入れる

解答・解説

正答：イ

ア：リスク源をなくす対応で、設問の冗長化とは異なります。

イ：冗長化により障害時の影響を小さくするため軽減です。

ウ：負担を第三者へ移す対応で、冗長化とは異なります。

エ：積極的な対策をせず受け入れる対応で、設問とは異なります。

総合解説：軽減では冗長化、バックアップ、教育などで確率や影響を下げます。

問題 0111

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：基礎

プロジェクトで発生し得る特定の損失に備えて保険契約を結び、金銭的影響の一部を保険会社へ移す対応はどれか。

- ア. 回避：対象業務を中止して損失原因をなくす
- イ. 軽減：教育によって発生確率を下げる
- ウ. 転嫁：保険契約で金銭的影響の一部を第三者へ移す
- エ. 受容：損失を自社だけで受け入れる

解答・解説

正答：ウ

ア：リスク源をなくす対応で、保険契約とは異なります。

イ：発生確率や影響を下げる対応で、保険契約とは異なります。

ウ：保険契約によって金銭的影響の一部を移すため転嫁です。

エ：リスクを受け入れる対応で、保険による移転とは異なります。

総合解説：転嫁してもリスク自体が完全に消えるとは限らない点に注意します。

問題 0112

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：標準

発生確率も影響も小さいリスクについて、追加対策の費用が大きいため、状況を監視しながら発生時に対応する方針とした。この対応はどれか。

- ア. 回避：低リスクの作業自体を廃止する
- イ. 軽減：追加設備を導入して影響を下げる
- ウ. 転嫁：第三者との契約で損失負担を移す
- エ. 受容：低いリスクを認識し監視しながら受け入れる

解答・解説

正答：エ

ア：リスク源をなくす対応で、設問の方針とは異なります。

イ：追加対策で影響を下げる対応で、設問では費用面から積極対策を選んでいません。

ウ：負担を第三者へ移す対応で、設問とは異なります。

エ：リスクを認識しながら受け入れる方針なので受容です。

総合解説：受容でも無視するのではなく監視や発生時対応を考えておきます。

問題 0113

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：応用

複数のリスクから優先的に対策すべきものを選ぶ際の基本的な考え方として、最も適切なものはどれか。

- ア. 発生可能性と発生した場合の影響を組み合わせで評価する。
- イ. リスク名の文字数だけで判断する。
- ウ. 報告した担当者の役職だけで判断する。
- エ. 発生可能性だけを見て影響を無視する。

解答・解説

正答：ア

ア：一般にリスクの優先度は発生可能性と影響度を基に判断します。

イ：文字数は重要度と関係ありません。

ウ：役職だけではリスクの大きさを評価できません。

エ：低確率でも重大な影響を持つリスクがあります。

総合解説：確率と影響を整理して優先度を決め、重要なリスクへ資源を配分します。

問題 0114

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：標準

プロジェクトのコミュニケーション計画で定める内容として、最も適切なものはどれか。

- ア. 全ての情報を全員へ常に同じ量だけ送ること。
- イ. 誰に、何を、いつ、どの方法で報告・共有するか。
- ウ. 報告を一切行わないこと。
- エ. プログラム言語の文法だけを定めること。

解答・解説

正答：イ

ア：過剰共有で重要情報が埋もれる場合があります。

イ：関係者ごとに必要な情報、頻度、媒体、責任者などを計画します。

ウ：認識ずれや意思決定遅延につながります。

エ：コミュニケーション計画の内容ではありません。

総合解説：必要な相手へ適切な内容とタイミングで情報を届けることが重要です。

問題 0115

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：基礎

プロジェクトの週次進捗報告として、最も適切な内容はどれか。

ア. 良い点だけを報告し遅延や課題を隠す。

イ. 担当者の私生活だけを詳細に報告する。

ウ. 予定と実績の差、発生した課題やリスク、今後の対応を簡潔に示す。

エ. 数か月前の予定だけを繰り返し現状を示さない。

解答・解説

正答：ウ

ア：問題の早期対応を妨げます。

イ：プロジェクト進捗との関連がありません。

ウ：関係者が状況を判断できるよう計画との差異や対応事項を共有します。

エ：現在の実績と差異を示す必要があります。

総合解説：進捗報告は事実に基づき差異、問題、リスク、対策を共有します。

問題 0116

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：標準

担当者の権限では解決できない重大な問題が発生した。プロジェクト運営として最も適切な行動はどれか。

ア. 解決できないことを隠して放置する。

イ. 関係のない全社員へ機密情報を送る。

ウ. 記録を削除して問題がなかったことにする。

エ. 定められたルールに従い、上位責任者など適切な意思決定者へ速やかにエスカレーションする。

解答・解説

正答：エ

ア：問題が拡大するおそれがあります。

イ：必要範囲を超えた共有は不適切です。

ウ：状況把握や再発防止を妨げます。

エ：重大問題を権限のある者へ上げ早期の意思決定を促します。

総合解説：エスカレーションは適切なレベルで判断を受けるための重要なコミュニケーションです。

問題 0117

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：応用

設計段階で重大な要件漏れの可能性が見つかった。品質とリスク管理の観点から最も適切な対応はどれか。

- ア. 早期に影響を分析し、関係者と要件を確認して必要な修正を行う。
- イ. 本番稼働まで何もせず待つ。
- ウ. 要件漏れを記録から削除する。
- エ. 確認せず無関係な機能を追加する。

解答・解説

正答：ア

ア：上流工程で不備を早く修正すれば後工程の大きな手戻りを減らせます。

イ：問題が広がり修正コストが増える可能性があります。

ウ：リスクや品質問題を隠すことになります。

エ：根本原因への対応になりません。

総合解説：レビューやリスク管理は問題を早期に発見し影響が小さい段階で対応するために有効です。

問題 0118

[3-4 プロジェクトマネジメント] > [品質・リスク・コミュニケーション] | 難易度：基礎

経営者、利用部門、開発チームへプロジェクト状況を報告する。最も適切な方法はどれか。

- ア. 全員にソースコード全文だけを送る。
- イ. 共通の事実を基にしつつ、各ステークホルダの意思決定に必要な粒度や内容へ調整して伝える。
- ウ. 相手ごとに事実そのものを変える。
- エ. 問題がある場合だけ報告を停止する。

解答・解説

正答：イ

ア：経営者や利用部門には不要な詳細が多くなります。

イ：相手の役割に応じて必要情報が異なるため、事実を統一しつつ伝え方を調整します。

ウ：報告内容の整合性が失われます。

エ：問題時こそ適切な情報共有が必要です。

総合解説：良いコミュニケーションは正確性、一貫性、タイミング、相手に合った粒度を意識します。

問題 0119 [3-5 サービスマネジメント] > [サービス・ITIL・SLA] | 難易度：標準

ITサービスマネジメントの主な目的として、最も適切なものはどれか。

- ア. システムを一度導入したら改善を行わない。
- イ. 利用者の要求を確認せず技術だけを優先する。
- ウ. 利用者へ価値を提供できるよう、サービスを安定的・効率的に運用し、品質を維持・向上させる。
- エ. 障害が起きるまで運用状況を一切把握しない。

解答・解説

正答：ウ

ア：継続的な改善も重要です。

イ：利用者・顧客への価値提供が重要です。

ウ：サービスの計画、設計、移行、提供、改善を通じて価値提供を支援します。

エ：安定運用のため継続的な管理が必要です。

総合解説：サービスマネジメントでは技術だけでなく組織、プロセス、資源を管理します。

問題 0120 [3-5 サービスマネジメント] > [サービス・ITIL・SLA] | 難易度：標準

ITサービスマネジメントのベストプラクティスを体系化した代表的なフレームワークはどれか。

- ア. UML
- イ. WBS
- ウ. SWOT
- エ. ITIL

解答・解説

正答：エ

ア：システムやソフトウェアを表現する記法です。

イ：プロジェクト作業を階層的に分解する手法です。

ウ：経営環境を4区分に整理する分析です。

エ：ITILはITサービスマネジメントの代表的なフレームワークです。

総合解説：ITパスポートではITILをサービスマネジメントの代表的フレームワークとして理解します。

問題 0121

[3-5 サービスマネジメント] > [サービス・ITIL・SLA] | 難易度：応用

SLA（Service Level Agreement）の説明として、最も適切なものはどれか。

- ア. 提供するサービスと、合意したサービスレベルを顧客と提供者の間で明確にした合意文書
- イ. プログラムのソースコードを記述する文書
- ウ. 企業の財務諸表を作成する基準
- エ. プロジェクト作業を分解する図

解答・解説

正答：ア

ア：SLAではサービス内容や合意されたパフォーマンスを明確にします。

イ：ソースコードはSLAではありません。

ウ：SLAは会計基準ではありません。

エ：これはWBSに関する説明です。

総合解説：SLAにより顧客と提供者の期待水準と評価基準を明確にできます。

問題 0122

[3-5 サービスマネジメント] > [サービス・ITIL・SLA] | 難易度：基礎

サービスの可用性や応答時間などを実際に測定する指標を表す用語として、最も適切なものはどれか。

- ア. SLO
- イ. SLI（Service Level Indicator）
- ウ. SLA
- エ. WBS

解答・解説

正答：イ

ア：SLOは指標に対して設定する目標水準です。

イ：SLIはサービスレベルを測るための実測指標です。

ウ：SLAは顧客と提供者の間のサービスレベルに関する合意です。

エ：WBSはプロジェクトの作業分解構成です。

総合解説：SLIは指標、SLOは目標、SLAは顧客との合意という関係で整理します。

問題 0123

[3-5 サービスマネジメント] > [サービス・ITIL・SLA] | 難易度：標準

Webサービスで「月間可用性99.9%以上」を内部のサービス目標として設定した。このような目標値を表す用語として最も適切なものはどれか。

- ア. SLI
- イ. WBS
- ウ. SLO (Service Level Objective)
- エ. RFP

解答・解説

正答：ウ

ア：SLIは可用性や応答時間などを測定する指標です。

イ：WBSはプロジェクト作業を分解したものです。

ウ：SLOはサービスレベル指標に対して設定する目標値です。

エ：RFPはベンダーへ提案を依頼する文書です。

総合解説：SLIで測り、SLOで目標を定め、必要に応じてSLAとして顧客と合意します。

問題 0124

[3-5 サービスマネジメント] > [サービス・ITIL・SLA] | 難易度：標準

クラウドサービスのSLAに記載する項目として、最も適切なものはどれか。

- ア. 開発者全員の趣味
- イ. 会社のロゴの色だけ
- ウ. 利用者の住所を全て公開すること
- エ. サービス提供時間、可用性、応答時間など、顧客と合意して評価できるサービスレベル

解答・解説

正答：エ

ア：サービス品質の評価項目ではありません。

イ：サービス提供レベルを示す指標ではありません。

ウ：SLAのサービスレベル項目ではなく個人情報保護上も不適切です。

エ：客観的に測定・評価できるサービスレベルを明確にすることがSLAの役割です。

総合解説：SLAでは何をどの水準で提供するかを測定可能な形で定めます。

問題 0125

[3-5 サービスマネジメント] > [サービス・ITIL・SLA] | 難易度：応用

ITサービスを評価するときの考え方として、最も適切なものはどれか。

- ア. 技術仕様だけでなく、利用者の目的達成や業務への価値、安定性なども含めて評価する。
- イ. CPUのクロック周波数だけで全サービス品質を決める。
- ウ. 利用者の要求を無視して提供者の都合だけで決める。
- エ. サービス停止時間は評価しない。

解答・解説

正答：ア

ア：サービスは単なる技術機能ではなく利用者へ価値を提供するものです。

イ：技術性能だけではサービス全体を評価できません。

ウ：顧客・利用者への価値提供が重要です。

エ：可用性などは重要な品質項目です。

総合解説：サービスマネジメントではサービスの価値や利用者の期待、品質を管理します。

問題 0126

[3-5 サービスマネジメント] > [サービス・ITIL・SLA] | 難易度：基礎

SLAで月間可用性99.9%以上を合意している。月末に行うべき対応として最も適切なものはどれか。

- ア. 可用性を測定せず達成したことにする。
- イ. 実際の可用性を測定し、SLAの目標と比較して達成状況を確認する。
- ウ. 障害があっても記録を削除する。
- エ. 毎月SLAの目標値を実績に合わせて無断で変更する。

解答・解説

正答：イ

ア：客観的な評価ができません。

イ：SLAは合意して終わりではなく実績を測定・評価する必要があります。

ウ：正しいサービス評価を妨げます。

エ：合意内容を一方的に変更するのは不適切です。

総合解説：サービスレベル管理では目標と実績を比較し未達時は改善につなげます。

問題 0127 [3-5 サービスマネジメント] > [サービス・ITIL・SLA] | 難易度：標準

利用者満足度と障害記録を定期的に分析し、問題が多い業務を改善する活動について、最も適切な説明はどれか。

ア. 導入後は変更してはいけないため不適切である。

イ. プロジェクト開始前だけに行う活動である。

ウ. サービス品質を継続的に改善するサービスマネジメントの活動である。

エ. 利用者の評価はサービス品質と無関係である。

解答・解説

正答：ウ

ア：環境や要求の変化に応じて改善します。

イ：運用中のサービスでも継続的改善を行います。

ウ：サービス提供後も実績を評価し改善を繰り返します。

エ：利用者満足度は重要な評価情報です。

総合解説：サービスマネジメントは計画、提供、評価、改善を継続して行います。

問題 0128 [3-5 サービスマネジメント] > [サービス・ITIL・SLA] | 難易度：応用

あるサービスで応答時間をSLIとして測定し、「95%の要求を2秒以内に応答する」をSLOとし、その一部を顧客とのSLAに明記した。この説明として最も適切なものはどれか。

ア. SLIとSLOとSLAは全て同じ意味なので区別する必要はない。

イ. SLAはプロジェクトのWBSを作るための文書である。

ウ. ITILではサービス品質を測定してはいけない。

エ. 指標で実績を測り、目標を設定し、顧客と合意するというサービスレベル管理の考え方に沿っている。

解答・解説

正答：エ

ア：指標、目標、合意という役割の違いがあります。

イ：SLAはサービスレベルに関する合意です。

ウ：サービス品質の測定・改善は重要です。

エ：SLI・SLO・SLAを役割に応じて使い分けています。

総合解説：ITILはサービスマネジメントのフレームワークで、サービスレベルを適切に管理します。

問題 0129

[3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：基礎

正常に利用できていた業務システムが突然停止し、利用者が業務を続けられなくなった。この事象はサービスマネジメントでは何に当たるか。

- ア. サービス要求
- イ. 変更
- ウ. インシデント
- エ. リリース

解答・解説

正答：ウ

ア：パスワード再発行や情報提供など、あらかじめ定めた通常の依頼を指します。

イ：サービスや構成アイテムに対して管理された変更を行うことです。

ウ：サービスの中断や品質低下など、通常のサービス提供を妨げる事象はインシデントとして扱います。

エ：変更されたサービスや機能を本番環境へ提供する単位・活動です。

総合解説：インシデント管理では、原因究明より先にサービスをできるだけ早く正常状態へ戻すことを重視します。

問題 0130

[3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：標準

インシデント管理の主な目的として、最も適切なものはどれか。

- ア. サービスを可能な限り迅速に正常な状態へ復旧し、業務への悪影響を小さくする。
- イ. 全てのインシデントの根本原因を必ずその場で解明する。
- ウ. 新システムの予算を決定する。
- エ. ソフトウェアライセンスを販売する。

解答・解説

正答：ア

ア：インシデント管理は、サービス中断・品質低下からの迅速な復旧を重視します。

イ：根本原因の分析は問題管理で扱う重要事項です。

ウ：予算策定はインシデント管理の主目的ではありません。

エ：サービス復旧とは関係ありません。

総合解説：インシデント管理ではまずサービス復旧を優先し、必要に応じて問題管理へ根本原因分析をつなげます。

問題 0131 [3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：基礎

同じ障害が繰り返し発生しているため、背後にある根本原因を特定し、再発防止策を検討する活動はどれか。

- ア. サービス要求管理
- イ. リリース管理
- ウ. 容量管理
- エ. 問題管理

解答・解説

正答：エ

ア：標準的な利用者要求を処理する活動です。

イ：変更したサービスを本番環境へ展開する活動です。

ウ：必要な性能や容量を管理する活動で、設問の根本原因分析そのものではありません。

エ：問題管理では一つ又は複数のインシデントの原因を分析し、再発防止や影響低減を図ります。

総合解説：インシデント管理が迅速な復旧を重視するのに対し、問題管理は根本原因と再発防止に重点を置きます。

問題 0132 [3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：標準

業務システム障害に対し、まず暫定的な回避策でサービスを復旧し、その後に恒久対策のため原因分析を行った。この流れとして最も適切な説明はどれか。

- ア. 復旧も原因分析も全てサービス要求管理だけで行う。
- イ. 迅速な復旧はインシデント管理、根本原因分析は問題管理として役割を分けている。
- ウ. 原因分析を先に終えるまでサービス復旧を行ってはいけない。
- エ. 復旧後は原因を調べる必要がない。

解答・解説

正答：イ

ア：サービス要求管理は通常の定型的な利用依頼を扱います。

イ：二つの活動は連携しますが、目的が異なります。

ウ：業務影響を抑えるため、早期復旧を優先する場合があります。

エ：再発する障害では根本原因分析と恒久対策が重要です。

総合解説：サービスを止めたまま原因究明だけを続けるのではなく、復旧と再発防止を適切な管理活動で分担します。

問題 0133

[3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：応用

利用者から「社内システムのパスワードを忘れたので再設定してほしい」という、定められた手順で処理できる依頼が来た。この依頼は一般にどれに当たるか。

- ア. サービス要求
- イ. 重大インシデント
- ウ. 問題
- エ. リリース

解答・解説

正答：ア

ア：パスワード再設定や情報提供など、通常のサービス提供の一部として定型処理できる依頼はサービス要求として扱われます。

イ：サービス全体へ重大な影響を与える障害ではありません。

ウ：一つ又は複数のインシデントの根本原因を表す概念です。

エ：本番環境へ展開する変更の集合などを指します。

総合解説：サービス要求とインシデントを区別すると、利用者からの依頼を適切な手順で効率よく処理できます。

問題 0134

[3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：標準

利用者からの問い合わせや障害連絡を受け付ける単一の窓口として機能するサービスデスクの考え方を表す用語はどれか。

- ア. KPI
- イ. RFP
- ウ. SPOC (Single Point of Contact)
- エ. WBS

解答・解説

正答：ウ

ア：業績や活動の進捗を測る指標です。

イ：提案依頼書です。

ウ：サービスデスクは利用者に対する単一窓口として機能することが代表的な役割です。

エ：プロジェクト作業の分解構成です。

総合解説：SPOCを設けることで、利用者がどこへ連絡すべきか分かりやすくなり、対応状況も一元管理しやすくなります。

問題 0135

[3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：基礎

複数のインシデントが同時に発生した。対応順序を決める基本的な考え方として、最も適切なものはどれか。

ア. 受付順だけで必ず処理する。

イ. 業務への影響度と緊急度などを考慮して優先度を決める。

ウ. 報告者の役職だけで決める。

エ. インシデント名の文字数で決める。

解答・解説

正答：イ

ア：影響度が大きい障害を後回しにする可能性があります。

イ：多数の利用者や重要業務へ大きな影響を与えるインシデントなどを適切に優先します。

ウ：業務影響や緊急性を反映できません。

エ：優先度とは関係ありません。

総合解説：インシデント管理では、影響度と緊急度などを用いて優先順位を付け、限られた対応資源を適切に配分します。

問題 0136

[3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：標準

サービスデスクでは解決できない重大障害が発生し、専門チームや責任者の判断が必要になった。最も適切な対応はどれか。

ア. 解決できないことを隠して受付を終了する。

イ. 利用者に原因調査を全て任せる。

ウ. 記録を残さず別担当へ口頭だけで渡す。

エ. 定められた手順に従い、必要な専門チームや上位責任者へエスカレーションする。

解答・解説

正答：エ

ア：問題が未解決のまま残り、利用者影響が拡大するおそれがあります。

イ：サービス提供側が適切な体制で対応する必要があります。

ウ：対応履歴や責任範囲が不明確になります。

エ：担当窓口で解決できない場合は、適切な権限・専門性を持つ担当へ迅速に引き継ぎます。

総合解説：エスカレーションには、技術的な専門部署への引継ぎや、判断権限を持つ上位者への報告などがあります。

問題 0137

[3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：基礎

インシデント対応で受付内容、影響、対応履歴、復旧結果などを記録する主な利点はどれか。

ア. 記録すると必ず障害が発生しなくなる。

イ. 対応状況の共有、傾向分析、再発時の迅速な対応などに活用できる。

ウ. 利用者への報告が不要になる。

エ. 根本原因が自動的に確定する。

解答・解説

正答：イ

ア：記録だけで障害をゼロにはできません。

イ：記録は引継ぎや管理、問題管理への情報提供、継続的改善に役立ちます。

ウ：必要なコミュニケーションは別途行います。

エ：記録は分析材料になりますが、自動的に原因が確定するわけではありません。

総合解説：インシデントの記録を蓄積すると、同様障害の解決や傾向分析、問題管理、サービス改善へつなげられます。

問題 0138

[3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：応用

根本原因は判明しているが恒久修正には時間がかかる障害について、有効な回避策が分かっている。利用者影響を減らすための対応として最も適切なものはどれか。

ア. 既知の情報と回避策を記録・共有し、再発時に迅速な復旧へ利用する。

イ. 回避策を担当者だけの記憶に残し共有しない。

ウ. 恒久対策が完了するまで毎回ゼロから調査する。

エ. 原因が分かっているので利用者への影響を無視する。

解答・解説

正答：ア

ア：原因や回避策をナレッジとして活用すれば、同じインシデントへの対応時間を短縮できます。

イ：担当者不在時に利用できず、組織的な対応になりません。

ウ：既知情報を活用せず非効率です。

エ：影響を抑えるため回避策や復旧を行う必要があります。

総合解説：問題管理で得た原因・回避策などをインシデント管理へ共有すると、サービス復旧を迅速化できます。

問題 0139

[3-5 サービスマネジメント] > [インシデント・問題・サービス要求管理] | 難易度：標準

全社で利用するサービスに重大障害が発生し、復旧まで時間を要する見込みである。対応として最も適切なものはどれか。

ア. 原因が完全に判明するまで一切情報を出さない。

イ. 未確認情報を確定事項として発表する。

ウ. 復旧作業と並行して、影響範囲や状況、次回報告予定などを関係者へ適切に共有する。

エ. サービス復旧より報告資料の装飾を優先する。

解答・解説

正答：ウ

ア：利用者が業務判断できず混乱が拡大する可能性があります。

イ：誤情報により混乱や信頼低下を招きます。

ウ：重大インシデントでは技術的復旧だけでなく、利用者や関係者への継続的な情報提供も重要です。

エ：復旧と必要なコミュニケーションを優先します。

総合解説：重大インシデントでは、復旧、優先度管理、エスカレーション、利用者への適切な情報共有を組み合わせます。

問題 0140

[3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：標準

本番システムへの機能追加や設定変更を行う際、変更管理を実施する主な目的として最も適切なものはどれか。

ア. 全ての変更を永久に禁止する。

イ. 変更内容を担当者だけが知る状態にする。

ウ. テストせず必ず本番へ直接反映する。

エ. 変更の効果・リスク・影響を評価し、承認や記録を通じて変更を統制する。

解答・解説

正答：エ

ア：必要な改善や修正も行えなくなります。

イ：関係者間の認識がずれ、障害時の追跡も難しくなります。

ウ：変更リスクを高めます。

エ：無秩序な変更による障害を防ぎ、必要な変更を安全に実施するために管理します。

総合解説：変更管理は変更を拒否する仕組みではなく、影響を把握し、適切な承認・計画の下で実施するための管理です。

問題 0141 [3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：基礎

手順やリスクが十分に分かっており、あらかじめ承認された定型的な変更を繰り返し実施する場合、この変更の扱いとして最も適切なものはどれか。

ア. 標準変更として定められた手順に従って実施する。

イ. 毎回無記録で自由に変更する。

ウ. 全て重大インシデントとして処理する。

エ. 変更の影響を一切考えない。

解答・解説

正答：ア

ア：低リスクで反復的な変更は、事前に承認された標準手順として管理することで効率化できます。

イ：標準変更であっても定められた手順や記録に従う必要があります。

ウ：変更とインシデントは異なる管理対象です。

エ：標準変更になるまでにリスクや手順が評価されていることが前提です。

総合解説：標準変更は、低リスクで十分に理解され、事前承認された定型変更として扱う考え方です。

問題 0142 [3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：標準

重大な脆弱性への対応で本番システムを早急に変更する必要がある。緊急変更への対応として最も適切なものはどれか。

ア. 緊急なので承認・記録・確認を全て不要とする。

イ. 緊急性に応じた短縮手順を使いつつ、必要な承認、影響確認、実施記録を残す。

ウ. 脆弱性が重大でも通常の長い手順が終わるまで対応しない。

エ. 担当者個人の端末だけに変更内容を記録する。

解答・解説

正答：イ

ア：変更による新たな障害や追跡不能の原因になります。

イ：緊急時でも変更を無統制に行うのではなく、状況に応じた変更管理を行います。

ウ：緊急性に応じた手順が必要です。

エ：組織として追跡・共有できる記録が必要です。

総合解説：緊急変更では迅速さと統制の両立が重要です。事後レビューを含めて変更履歴を残します。

問題 0143

[3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：応用

サーバ、ソフトウェア、設定情報、文書など、サービス提供のため管理対象とする構成要素を何というか。

- ア. KPI
- イ. SLA
- ウ. WBS
- エ. 構成アイテム (CI)

解答・解説

正答：エ

ア：重要業績評価指標です。

イ：サービスレベルに関する顧客との合意です。

ウ：プロジェクト作業の分解構成です。

エ：サービスを構成し管理対象となる要素を構成アイテムと呼びます。

総合解説：構成管理では、CIの属性や関係、状態を把握し、変更や障害対応に活用します。

問題 0144

[3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：基礎

あるアプリケーションサーバを変更する前に、それがどのサービスやデータベースと関係しているか確認したい。構成管理情報を利用する利点として最も適切なものはどれか。

- ア. 変更後の障害を必ずゼロにできる。
- イ. 顧客との契約が自動更新される。
- ウ. 変更対象と他の構成アイテムとの関係を把握し、影響範囲を検討できる。
- エ. プロジェクト予算が自動的に増額される。

解答・解説

正答：ウ

ア：構成情報はリスク低減に役立ちますが、障害を完全に防ぐ保証はありません。

イ：構成管理の目的ではありません。

ウ：CI間の関係が分かれば、変更による影響を事前に分析しやすくなります。

エ：構成管理とは無関係です。

総合解説：構成管理は、変更管理、インシデント管理、問題管理などへ正確な構成情報を提供します。

問題 0145

[3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：標準

テスト済みの新機能や修正をまとめ、計画に従って本番環境へ導入する活動として最も適切なものはどれか。

- ア. 問題管理
- イ. リリース及び展開管理
- ウ. サービス要求管理
- エ. 財務会計

解答・解説

正答：イ

ア：根本原因を分析し再発防止を図る活動です。

イ：承認された変更を本番環境へ安全に展開し、利用可能な状態にする活動です。

ウ：利用者からの定型依頼を処理する活動です。

エ：企業の財務情報を記録・報告する活動です。

総合解説：変更管理で承認された変更を、適切な計画・テスト・手順で本番へ展開するのがリリース及び展開管理です。

問題 0146

[3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：標準

変更管理とリリース及び展開管理の関係として、最も適切なものはどれか。

- ア. 変更管理で変更の評価・承認を行い、承認された変更をリリース及び展開管理で本番へ導入する。
- イ. 変更管理は本番展開だけを行い、リリース管理が変更を承認する。
- ウ. 二つは全く同じ活動なので区別しない。
- エ. 変更管理はサービス運用とは関係しない。

解答・解説

正答：ア

ア：変更の統制と、本番への配布・展開は関連しますが役割が異なります。

イ：役割が逆になっています。

ウ：評価・承認と、リリース・展開では主な役割が異なります。

エ：本番サービスへの変更を安全に行うため重要です。

総合解説：変更を『してよいか』を統制することと、『どう本番へ届けるか』を管理することを区別します。

問題 0147

[3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：基礎

本番環境へ新バージョンを展開する前に準備する事項として、最も適切なものはどれか。

ア. 旧バージョンや設定を必ず削除してからテストする。

イ. 障害時の対応を一切決めない。

ウ. 利用者への影響時間帯を確認しない。

エ. 問題が発生した場合に旧状態へ戻すためのロールバック手順を確認しておく。

解答・解説

正答：エ

ア：戻せなくなる可能性があり危険です。

イ：サービス停止時間が長くなるおそれがあります。

ウ：展開時期や影響を事前に検討することが重要です。

エ：本番展開で重大問題が起きた場合に迅速に復旧できるよう、戻し方を事前に考えます。

総合解説：リリース・展開では、テスト、実施手順、連絡、バックアップ、ロールバックなどを準備し、失敗時の影響を抑えます。

問題 0148

[3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：応用

大規模災害や重大障害が発生した場合でも、重要なITサービスを必要な水準で継続・復旧できるよう計画する活動はどれか。

ア. サービス要求管理

イ. 広告管理

ウ. サービス継続管理

エ. 著作権管理

解答・解説

正答：ウ

ア：通常の利用者要求を処理する活動です。

イ：マーケティング活動であり、ITサービス継続とは異なります。

ウ：重大な中断が発生した場合の継続・復旧方法を事前に計画し、事業への影響を抑える活動です。

エ：知的財産権の管理で、サービス復旧計画とは異なります。

総合解説：サービス継続管理は、事業継続の要求を踏まえ、災害や重大障害に備えて復旧体制・手順などを整えます。

問題 0149

[3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：標準

毎日データをバックアップしている企業が、サービス継続対策を強化したい。バックアップに加えて行うべき対応として、最も適切なものはどれか。

ア. 復旧手順、責任体制、代替環境、復旧テストなどを整備する。

イ. バックアップ媒体があるので復旧手順は不要とする。

ウ. 障害発生時に初めて担当者を決める。

エ. バックアップの復元テストを一度も行わない。

解答・解説

正答：ア

ア：データがあっても、復旧方法や体制がなければ必要時間内にサービスを戻せない可能性があります。

イ：実際に復元できることを確認する必要があります。

ウ：事前に役割と連絡体制を定めておく方が迅速です。

エ：必要時に復元できないリスクがあります。

総合解説：サービス継続では、バックアップだけでなく、RTO/RPO等の要求、復旧手順、代替手段、訓練・テストなどを総合的に考えます。

問題 0150

[3-5 サービスマネジメント] > [変更・構成・リリース・継続管理] | 難易度：標準

基幹システムを新バージョンへ更新する。安全な実施手順として最も適切なものはどれか。

ア. 構成関係を確認せず、承認なしで本番へ直接変更する。

イ. 影響する構成を確認し、変更を評価・承認し、テスト済みリリースを計画的に展開し、失敗時の復旧手順も用意する。

ウ. 変更後に問題が起きても旧状態へ戻す方法を用意しない。

エ. テストせず全利用者へ一斉展開し、記録も残さない。

解答・解説

正答：イ

ア：影響範囲を把握できず、変更リスクが高まります。

イ：構成情報、変更統制、リリース計画、継続・復旧対策を連携させることで本番変更のリスクを抑えられます。

ウ：長時間停止につながる可能性があります。

エ：品質、追跡性、復旧性の面で不適切です。

総合解説：サービスマネジメントの各活動は独立ではなく、正確な構成情報を基に変更を統制し、リリースを安全に展開し、継続性も確保するよう連携します。